SANDEN
Delivering Excellence

取扱説明書

サンデン自然冷媒 CO_2 ヒートポンプ給湯機

EBS-H37QTA2

貯湯タンクユニット	**EB-H37QTA2**
ヒートポンプユニット	**EB-H45HPA2**
リモコンセット	**EBK-HSRA**
台所リモコン	**EBK-HDRA**
ふろリモコン	**EBK-HFRA**

Eco
サンデンの エコシステム

ヒートポンプユニット　　貯湯タンクユニット

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、ご家族全員で安全に正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管し必要なときにお役立てください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

サンデン株式会社

エコキュートの上手な使い方ガイド

毎日ご使用いただく上で、より省エネで経済的なポイントを紹介します

■上手にお湯をわかして使う

エコキュートは、過去のお湯の使用量を学習して最適な量のお湯をわかしますが、リモコンの設定により余裕分を多めにわかすことも少なめにわかすこともできます。ご家庭の使用状況に合わせて、必要な量だけお湯をわかし、上手に使い切ることが省エネ・省コストのポイントです。

POINT 1 おすすめする最も効率的なモードに設定します。

●リモコンで運転モードを「おまかせ　少なめ」に設定してください。
⇨ P.19

●お湯が足りなくなりそうなときには、どちらかのリモコンの「わき増し」を押して、必要な湯量を確保してください。 ⇨ P.20

・１時間のわき上げで、約40℃のお湯を約120Lわかすことができます。
・おふろのお湯はりのめやす：約200L/回、シャワーのめやす：約10L/分。

●「おまかせ　少なめ」でお湯が足りなくなる場合は、お湯を多くわかすことのできる運転モード「おまかせ　標準」、または「おまかせ　多め」に設定を変更してください。 ⇨ P.19

POINT 2 数日間使用しないときは「休止モード」を活用します。

●旅行などで長期不在となるときには、リモコンで「運転休止日数」を設定し、わき上げを休止してください。 ⇨ P.35

■上手に付加機能を使う

エコキュートには多くの付加機能があります。上手に使うことが省エネ・省コストのポイントです。

POINT 1 おふろの温め直しは「高温さし湯」が省エネで経済的です。

●ふろリモコンで「保温時間」を「なし」に設定してください。 ⇨ P.28

●「あつく」よりも、「高温さし湯」の方が省エネで経済的です。 ⇨ P.31

POINT 2 待機時の消費電力を減らします。

●リモコンで「画面消灯」の設定時間を「１分」に設定し、待機時の消費電力を減らします。 ⇨ P.24～25

POINT 3 翌朝までお湯を使わないときは、「おやすみ」を使用します。

●夜間時間帯までわき上げを停止します。 ⇨ P.36

もくじ

ご使用の前に

●エコキュートの上手な使い方ガイド…… 1
●もくじ…… 2
●安全上のご注意…… 3
●電灯契約について…… 8
●各部のなまえ…… 9
●はじめてお使いになるとき…… 13
●おもな操作方法…… 15
●使用上のお願いとお知らせ…… 17

使い方

●はじめに
・日付・現在時刻を合わせる…… 18
・わき上げ湯量の選び方…… 19
・運転モードの設定…… 21
・知っておいてください（優先設定･チャイルドロック)…… 22
・各種設定を切り替える…… 24
●お湯を使う
・台所・洗面所でお湯を使う…… 26
●おふろの使い方
・ふろ温度・湯量（水位）の設定…… 27
・ふろ自動保温時間の設定…… 28
・お湯はりをする…… 29
・お湯はりの予約をする（入浴予約）…… 30
・湯かげんの調節をする…… 31
・湯量を多くする…… 32
●便利な機能
・使用状況を確認したいとき（エコ表示）…… 33
・使えるお湯の量を知りたいとき（残り時間）…… 34
・リモコンで通話をするとき…… 34
・数日間わき上げを休止するとき（運転休止）…… 35
・翌朝までお湯を使わないとき（おやすみ）…… 36
・お湯が不足しそうなとき（満タン）…… 36

お手入れ・その他

●ふろ配管の洗浄…… 37
●断水時に生活用水として使う…… 39
●点検とお手入れ…… 40
●据付工事後の確認…… 46
●故障かな？…… 47
●仕様…… 51
●MEMO …… 52
●アフターサービス…… 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

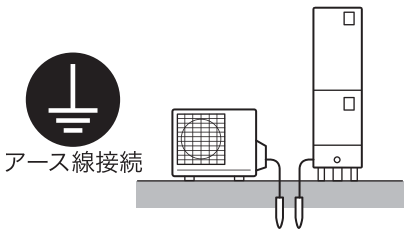
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠ 警告

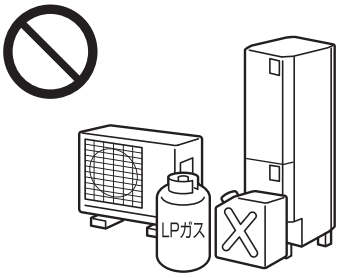
アース工事を確認する



アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

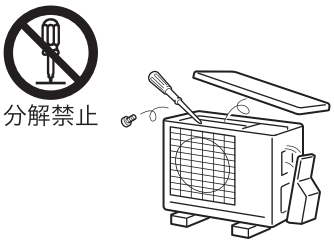
・アース工事を販売店にご依頼ください。（アース工事費は、本製品の価格には含まれていません）

近くにガス類容器や火の気、引火物を置かない



本体の電気部品のスパークで、発火することがあります。

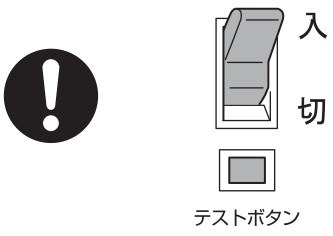
絶対に分解・修理・改造しない



感電や火災の原因になります。

・修理の場合は販売店にご相談ください。

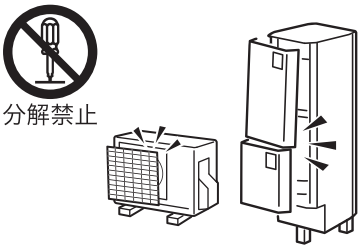
漏電しゃ断器の作動を確認する ⇨P.40



万一の不作動で、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

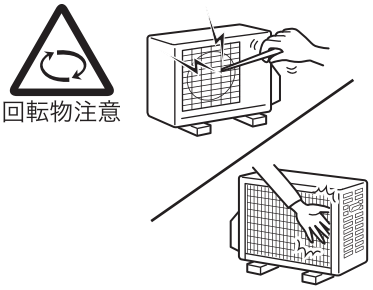
・故障の場合は販売店にご相談ください。

貯湯タンクユニットの前板やヒートポンプユニットのカバーを開けない



感電するおそれがあります。

ヒートポンプユニットの空気吸込口（フィン）・空気吹出口に手や棒を入れない



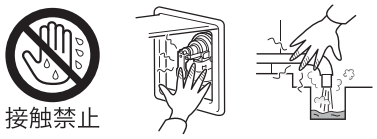
けがの原因になることがあります。

⚠警告

給湯時はじゃ口本体に手をふれない

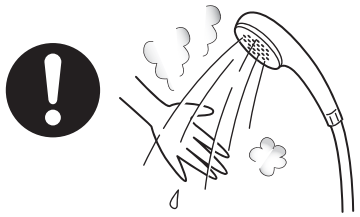
熱湯でやけどをするおそれがあります。

逃し弁の点検時、排水時は逃し弁や排水管・排水口・排水エルボに手をふれない



熱湯でやけどをするおそれがあります。

給湯・シャワー使用時は湯温を確かめる



やけどのおそれがあります。

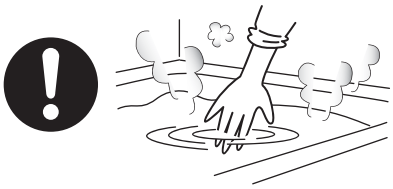
浴そうのふろ循環口を手足やタオルでふさいだり、体を近づけない

やけどのおそれがあります。貯湯タンクユニットの故障や配管の水漏れの原因となります。

子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうのふろ循環口付近にもぐったりしない

思わぬ事故の原因となります。

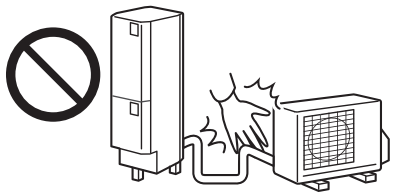
浴そうの湯温を確かめる



やけどのおそれがあります。

・自動お湯はり後入浴するときは、手で湯温を確かめてから入浴してください。

ヒートポンプユニット配管給湯配管に手をふれない



やけどのおそれがあります。

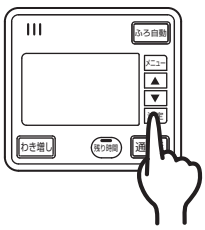
電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない

浴そうにお湯がないときは、「あつく」スイッチを押さない

やけどのおそれがあります。

・浴そうにお湯がないときに「あつく」スイッチを押すと循環口からあついお湯が出ます。浴そうや循環口のお手入れをするときは特に注意してください。

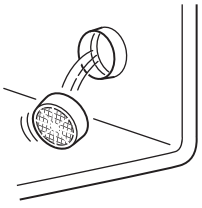
給湯温度の設定を変更するときは、他のじゃ口の使用を確認してから変更する



やけどのおそれがあります。

・シャワー使用時は、給湯温度を変更しないでください。

浴そうのふろ循環口のフィルターがゆるんだ状態、または外れた状態で使用しない



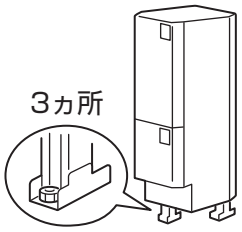
思わぬ事故の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

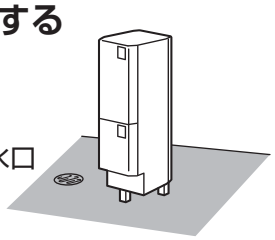
⚠注意

脚のアンカーボルトの固定を確認する



地震などによって本体が転倒してけがをするおそれがあります。

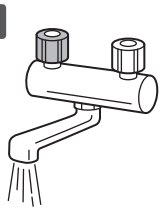
防水処理・排水処理をした床面に設置されていることを確認する



万一の漏水のときに階下などに被害をおよぼすおそれがあります。

・販売店にご相談ください。

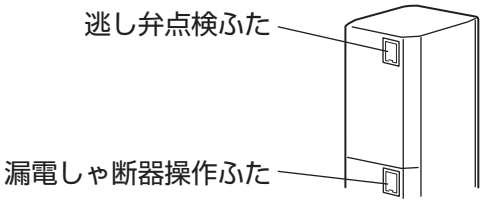
貯湯タンクユニットを満水にしてから通電する ⇨P.13~14



貯湯タンクユニットに水を入れずに通電すると、故障の原因となります。

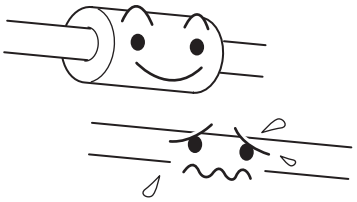
・給湯栓を開き水が出ることを確かめてから、漏電しゃ断器を「入」にしてください。

漏電しゃ断器操作ふた、逃し弁点検ふたは閉じておく



開いていると雨やごみが入り、漏電や感電の原因となります。

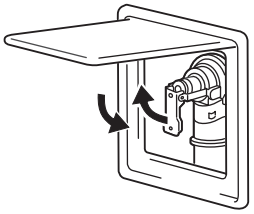
配管の保温工事を確認する



配管が凍結して破損すると、やけどや水漏れすることがあります。

・保温工事を販売店にご依頼ください。

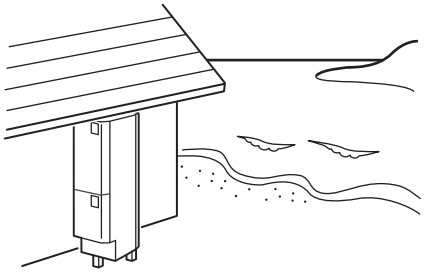
逃し弁の作動を確認する ⇨P.41



故障のまま使用すると、貯湯タンクユニットの破損や逃し弁からの水漏れのおそれがあります。
1ヵ月に1回作動確認してください。

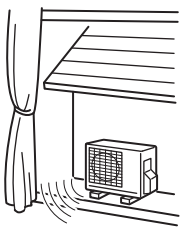
・故障の場合は、販売店にご相談ください。

塩害地には設置をしない



機器の故障の原因になります。

設置は隣家に配慮した場所を選ぶ



運転音や振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。

⚠注意

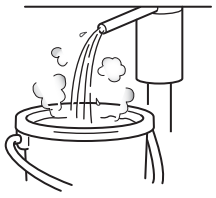
そのまま飲用しない

長期間のご使用によって貯湯タンクユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、やかんなどで沸騰させてからにしてください。

・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
・あついお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。

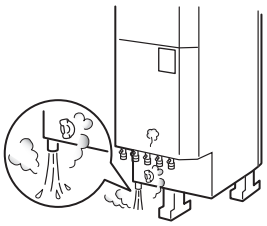
固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検を依頼してください。

非常用水コック使用時は湯温を確かめて、熱に強い容器を使用する



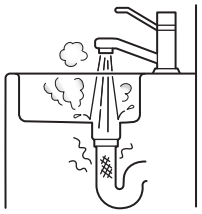
熱湯が出ます。
・やけどにご注意ください。
・ガラス容器などは熱により割れることがあります。

貯湯タンクユニットの熱湯を直接排水しない



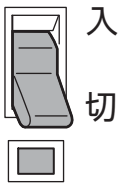
やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますので貯湯タンクユニット内を水にしてから排水してください。

あついお湯を直接流さない



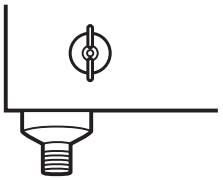
あついお湯により、やけどをしたり、排水管を傷めることがあります。
・水と混合して流してください。

異常時は、漏電しゃ断器を「切」にする



異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります
・お買い上げの販売店にご相談ください。

長期間使用しないときは貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜く ⇨P.42~43

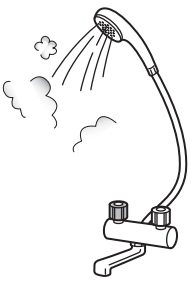


1ヵ月以上使用しないと水質が変化することがあります。

積雪時には除雪をする

ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの周囲に積雪すると、誤動作や故障の原因になります。

停電復帰直後の1分間は、シャワー・給湯を使用しない



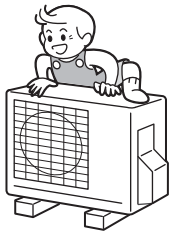
あついお湯が出る場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

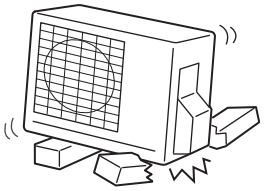
⚠注意

機器に乗ったり、ものを乗せたり、配管に力を加えたりしない



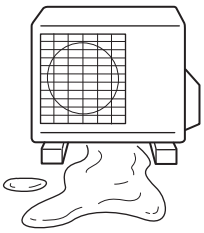
落下・転倒によりけがの原因になったり、やけどの原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない



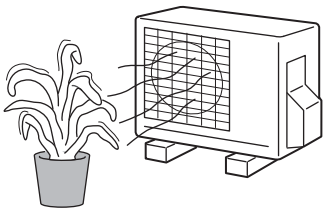
傷んだ状態で放置するとヒートポンプユニットの落下につながり、けがの原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの真下に、ぬれて困るものは置かない



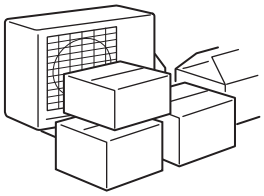
ドレン水が出ます。
また配管接続部から露が滴下する場合があります。

動植物に直接風を当てない



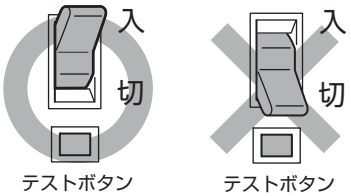
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

空気吸込口や空気吹出口をふさがない



能力低下や故障の原因になることがあります。

凍結予防のため、冬期は漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にしない
凍結予防ヒーターの通電を「切」にしない



配管が凍結し、水漏れすることがあります。

機器の設置状況などを確認する

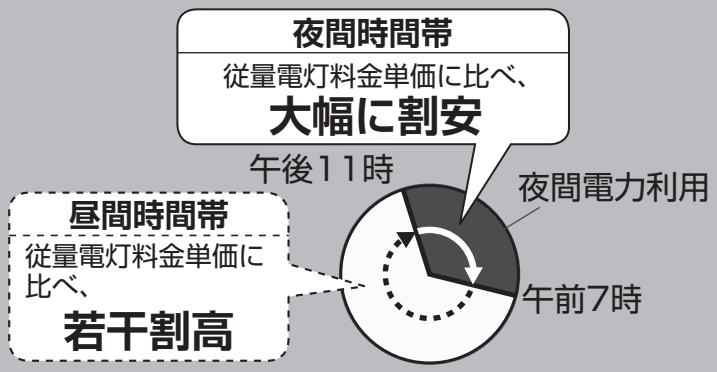
以下の場所に設置されている場合は、事故や故障の原因となり、機器の性能も保証できません。

- ●最低気温が -10℃以下となる場所
- ●浴そうと同一屋内（貯湯タンクユニットのみ）
- ●屋内（ヒートポンプユニットのみ）
- ●水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- ●階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- ●冠水する場所
- ●リモコン設置位置が、直射日光が当たる場所、または白熱灯から50cm（めやす）以内の場所
- ●ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所へは設置しないでください。
- ●ヒートポンプユニットの周辺には物を置かないでください。
  能力低下や思わぬトラブルの原因になります。
  特に冬期の積雪には、ご注意ください。
- ●給水圧が低い場合(200kPa以下)は、お湯の出が悪くなったり、お湯が出なくなることがあります。
- ●ふろ循環口のフィルターは、必ず細かいものを使用してください。(ゴミが機器内部につまり、故障の原因になります)

電灯契約について

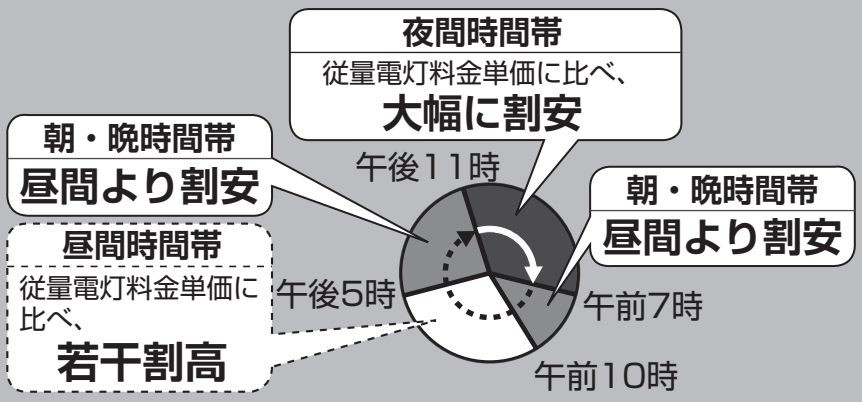
次のいずれかで契約されています

A 時間帯別料金対応通電制御型



ご家庭で使うすべての電力を、時間帯別電灯専用の積算電力で上図のように2つの時間帯に分けて電力料金を算定します。
※料金のめやすや通電時間帯は地域により異なります。

B 季節別時間帯別電灯契約通電制御型



ご家庭で使うすべての電力を、上図のように3つの時間帯と2つの季節に分けて電力料金を算定します。
※電力会社によっては、2つの時間帯と2つの季節に分ける場合もあります。
※料金のめやすや通電時間帯は地域により異なります。
※ヒートポンプ給湯機は季節区分の判断はできません。

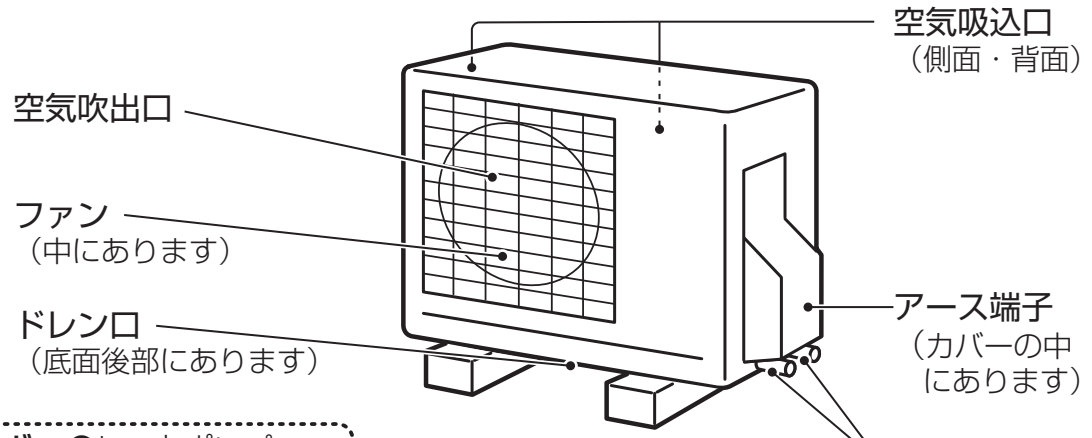
お知らせ

- 1日に使用できるお湯の量は限りがあります。
  髪を洗っているときや、洗いものをするときなどに、流したままで使用せず、こまめに止めて使いましょう。
- このヒートポンプ給湯機は、おもに夜間時間帯でお湯をわかしますので、夜間時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増し運転がずれ込み、電力消費量が増える場合があります。

各部のなまえ

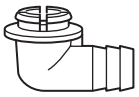
ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット、本体周辺のなまえをご確認ください

ヒートポンプユニット



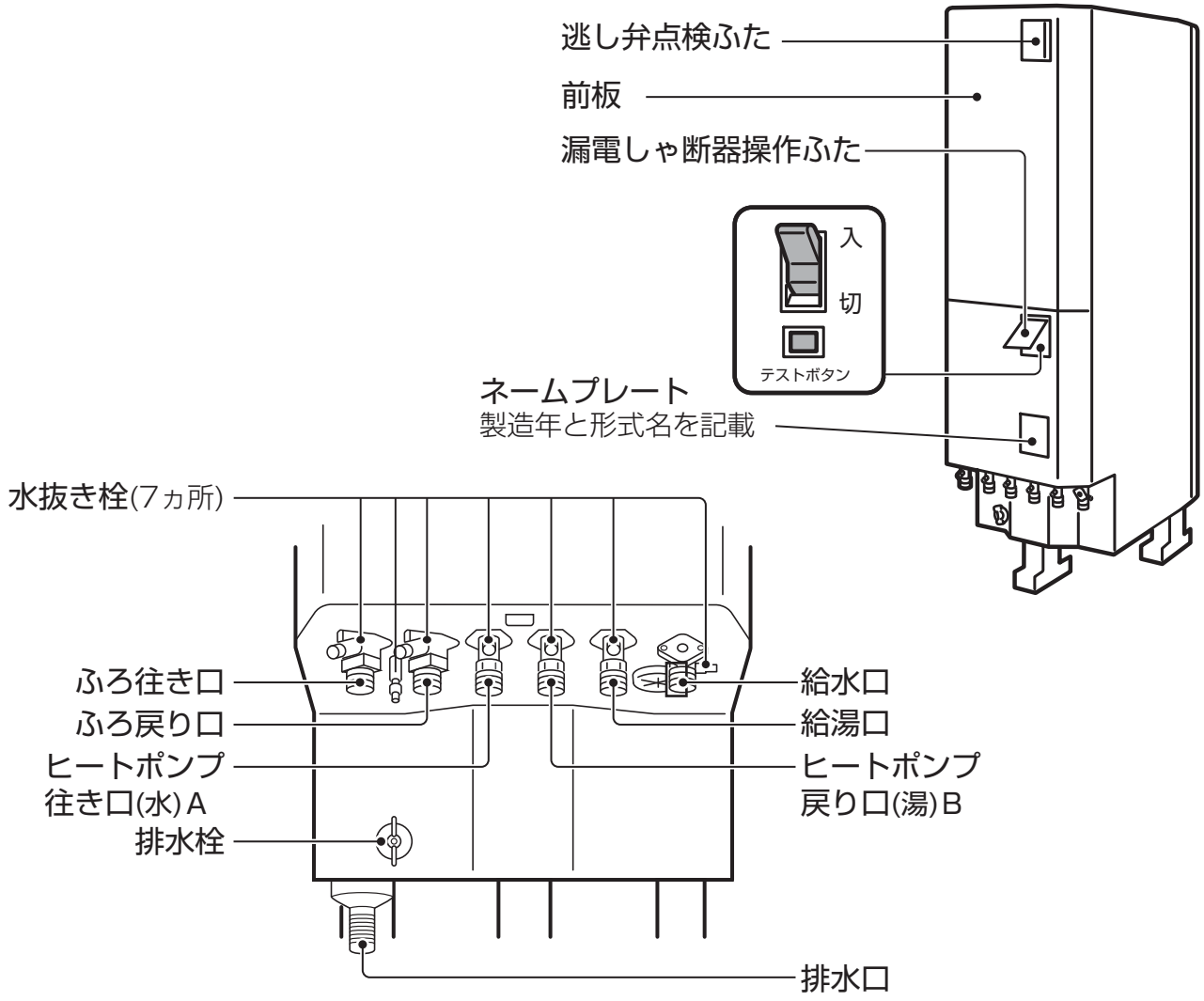
付属品

ドレンエルボ

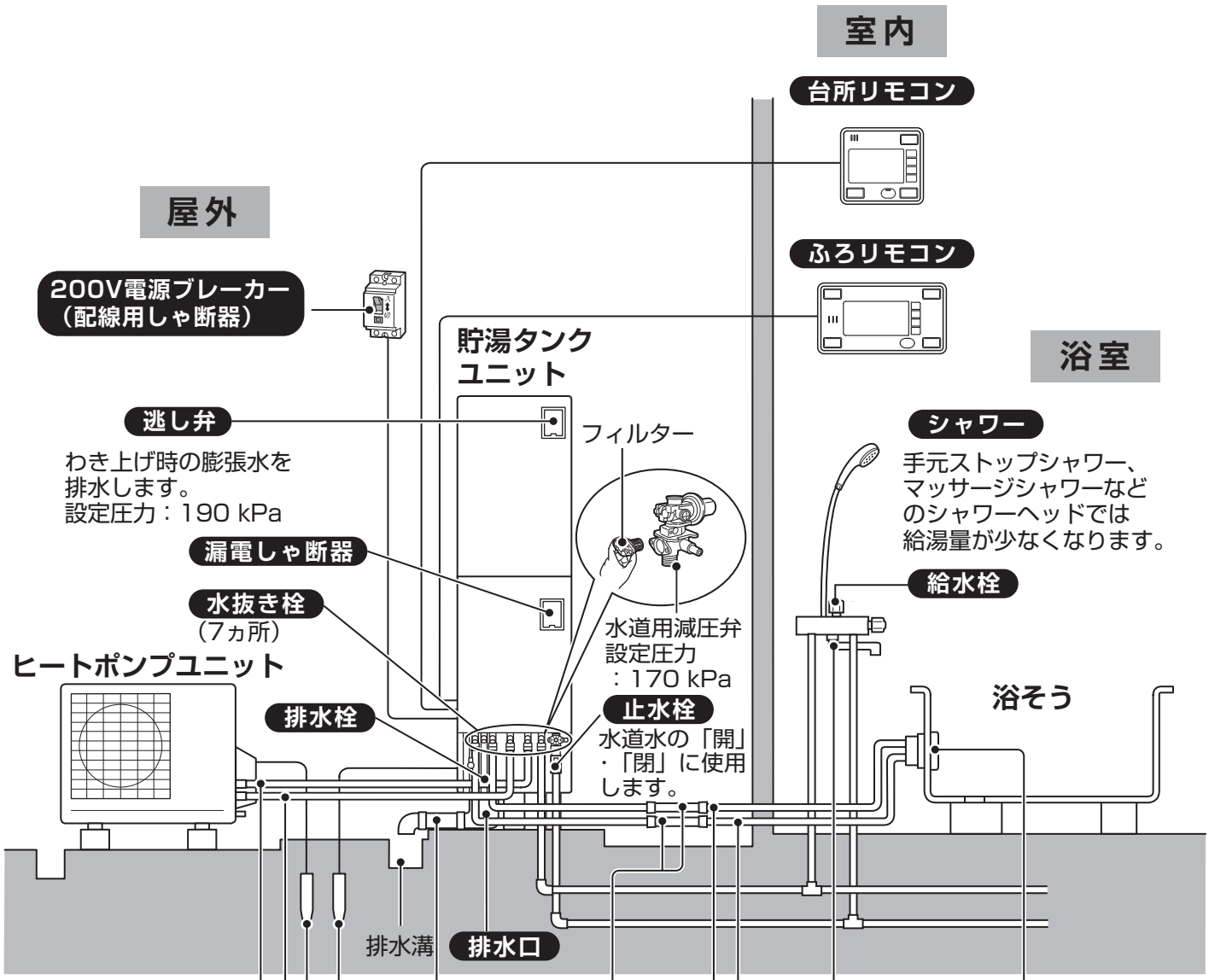


●ヒートポンプユニットからのドレン水を排水するとき使用します。

貯湯タンクユニット



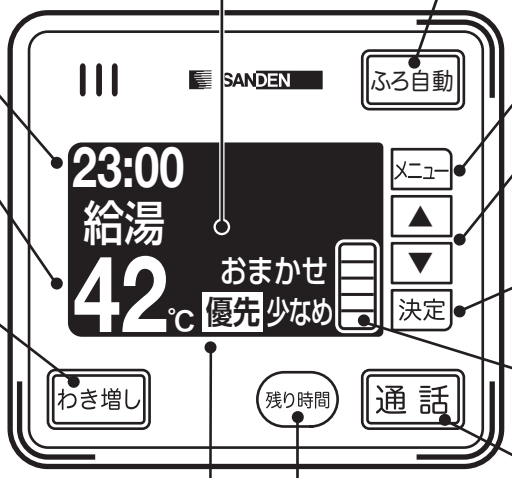
本体周辺


室内
台所リモコン
屋外
ふろリモコン
200V電源ブレーカー
（配線用しゃ断器）
貯湯タンク
ユニット
浴室
逃し弁
フィルター
シャワー
わき上げ時の膨張水を
排水します。
設定圧力：190 kPa
手元ストップシャワー、
マッサージシャワーなど
のシャワーヘッドでは
給湯量が少なくなります。
漏電しゃ断器
給水栓
水抜き栓
（7ヵ所）
水道用減圧弁
設定圧力
：170 kPa
ヒートポンプユニット
浴そう
排水栓
止水栓
水道水の「開」
・「閉」に使用
します。
排水溝
排水口
ヒートポンプ
戻り配管(湯)B
ふろ往き管
排水
ホッパー
絶縁パイプ ふろ戻り管
ヒートポンプ
往き配管(水)A
アース棒
サーモスタット付き
湯水混合水栓
ふろ循環口
貯湯タンクユニット
およびヒートポンプ
ユニットのアース端
子に接続します。
水栓は混合水栓をお使い
ください。
特に浴室ではサーモスタ
ット付き湯水混合水栓の
使用をおすすめします。
循環口に浴そうフィルター
があります。
定期的に浴そうフィルター
の掃除が必要です。

各部のなまえ

台所リモコン、ふろリモコンのなまえとはたらきをご確認ください

台所リモコン（初期画面）



ふろ自動ランプ(橙)
ふろ自動スイッチを押すと点灯します。画面消灯中は点滅します。

時刻表示
現在時刻を表示します。

運転モード表示
貯湯タンクわき上げの運転モードの設定内容を表示します。

ふろ自動スイッチ
おふろにお湯はりをします。

メニュースイッチ
時刻合わせや音声ガイドの音量などの設定をします。

給湯温度表示
台所、洗面所、シャワーなどの給湯設定温度を表示します。

▲▼スイッチ
メニューの選択や時間／時刻などを設定します。

わき増しスイッチ
すぐに貯湯タンクのお湯をわかし始めます。2秒押しで満タンにわき上げます。

決定スイッチ
メニューの項目、選択／設定を確定します。

残湯量表示
貯湯タンク内の残りのお湯の量を表示します。

わき増しランプ(橙)
わき増しスイッチを押すと点灯します。

台所優先表示
メニューから台所優先にすると、台所リモコンで給湯温度の変更ができます。台所優先にする場合、浴室でお湯を使っていないことを確認してください。

残り時間スイッチ
あと何分間給湯できるかのめやすを表示します。(42℃、12L/分に換算した場合)

通話スイッチ
ふろリモコンと通話ができます。

通話ランプ(緑)
通話スイッチを押すと点灯します。

残湯量の表示

リモコンの貯湯タンクの表示は、貯湯タンク内の残湯量を表しています。
各表示の残湯量は以下の通りです。

【残湯量のめやす】

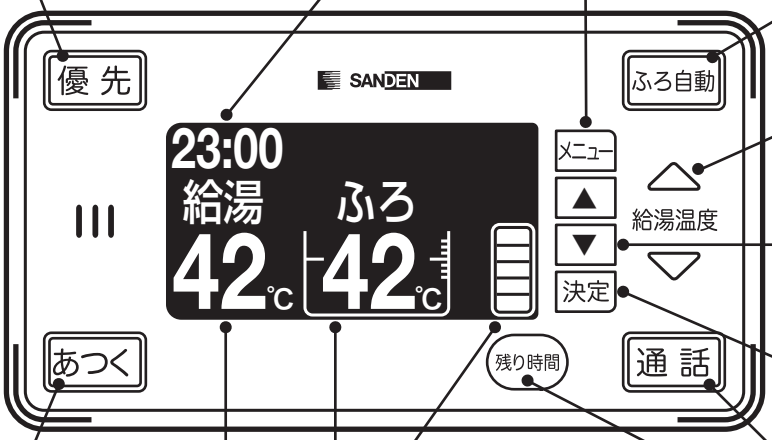
（単位：リットル）

370～270　270～220　220～160　160～110　110～60　60以下

満タン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・湯切れ注意

残湯量表示の目盛がゼロのときには、リモコン画面が点灯しスクリーンセーバー ⇨P.25 となります。目盛がゼロのあいだはスクリーンセーバーを継続します。

ふろリモコン（初期画面）



浴室優先ランプ(青)
浴室優先スイッチを押すと点灯します。

浴室優先スイッチ
シャワーなどの設定温度を浴室優先にします。

時刻表示
現在時刻を表示します。

メニュースイッチ
保温時間や音声ガイドの音量などの設定をします。

ふろ自動ランプ(橙)
ふろ自動スイッチを押すと点灯します。画面消灯中は点滅します。

ふろ自動スイッチ
おふろにお湯はりをします。

給湯温度スイッチ
給湯温度を変更します。
初期設定：42℃
設定温度：36～48℃、60℃

▲▼スイッチ
メニューの選択や時間などを設定します。

決定スイッチ
メニューの項目、選択／設定を確定します。

通話スイッチ
台所リモコンと通話ができます。

通話ランプ(緑)
通話スイッチを押すと点灯します。

あつくスイッチ
おふろの温度を高くします。

あつくランプ(橙)
あつくスイッチを押すと点灯します。

残湯量表示
貯湯タンク内の残りのお湯の量を表示します。

ふろ設定表示
おふろの設定値や水位、お湯はりを表示します。

給湯温度表示
洗面所、シャワーなどの給湯設定温度を表示します。

残り時間スイッチ
あと何分間給湯できるかのめやすを表示します。(42℃、12L/分に換算した場合)

●リモコン画面が消灯もしくはスクリーンセーバー ⇨ P.25 になっているときは、いずれかのスイッチを押すことで初期画面が点灯します。このとき、押したスイッチの運転動作は行われません。再度目的のスイッチを押してください。
●ふろ自動運転中に画面が消灯もしくはスクリーンセーバーになっているときは、「ふろ自動」スイッチを押すとふろ自動運転が停止します。

はじめてお使いになるとき

ご使用前には、次の手順で貯湯タンクを満水にし、空気抜き運転をしてください

1 止水栓を開く

2 排水栓を閉じる

・右に回すと「閉」になります。

3 逃し弁レバーを上げる

・約30～40分で貯湯タンクが満水になります。
・排水口から水が出始めたら、貯湯タンクは満水です。
・満水にしないと、給湯機の故障の原因となります。

4 逃し弁レバーを下げる

5 混合水栓のお湯側を開く

・混合水栓から水が出ることを確認してください。

6 混合水栓のお湯側を閉じる

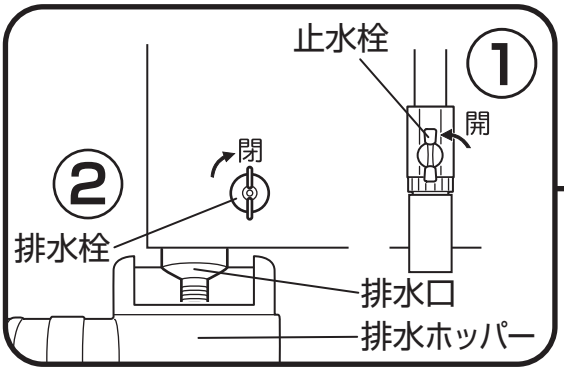
7 ヒートポンプユニットの水抜き栓(2ヵ所)を開ける

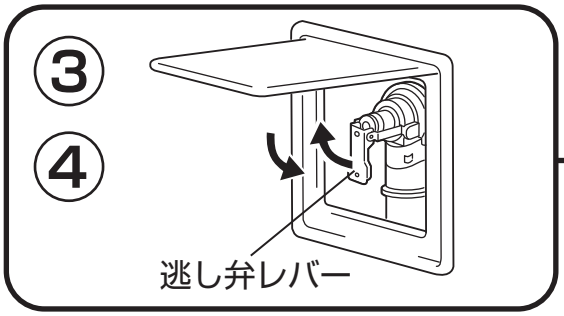
・空気の混じっていない水が連続的に出るまで確認してください。
・3分以上行ってください。

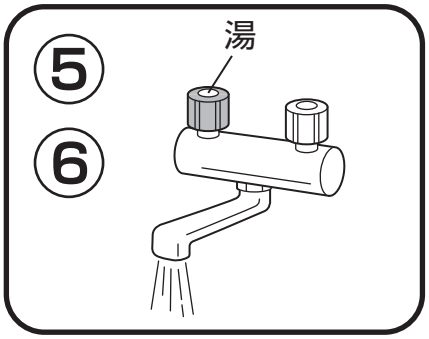
8 ヒートポンプユニットの水抜き栓(2ヵ所)を閉じる

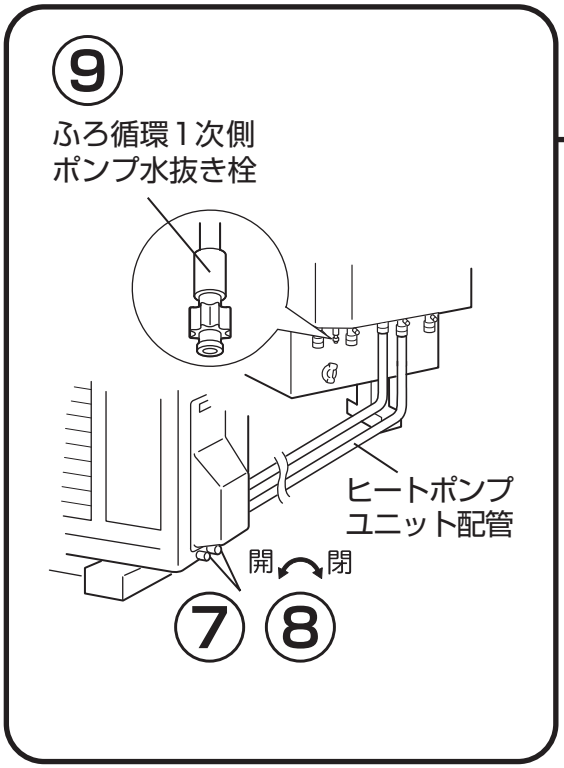
9 ふろ循環1次側ポンプの水抜き栓を開け、水が出る事を確認して閉じる

※本体内の水抜きについては、販売店･工事店にご相談ください。





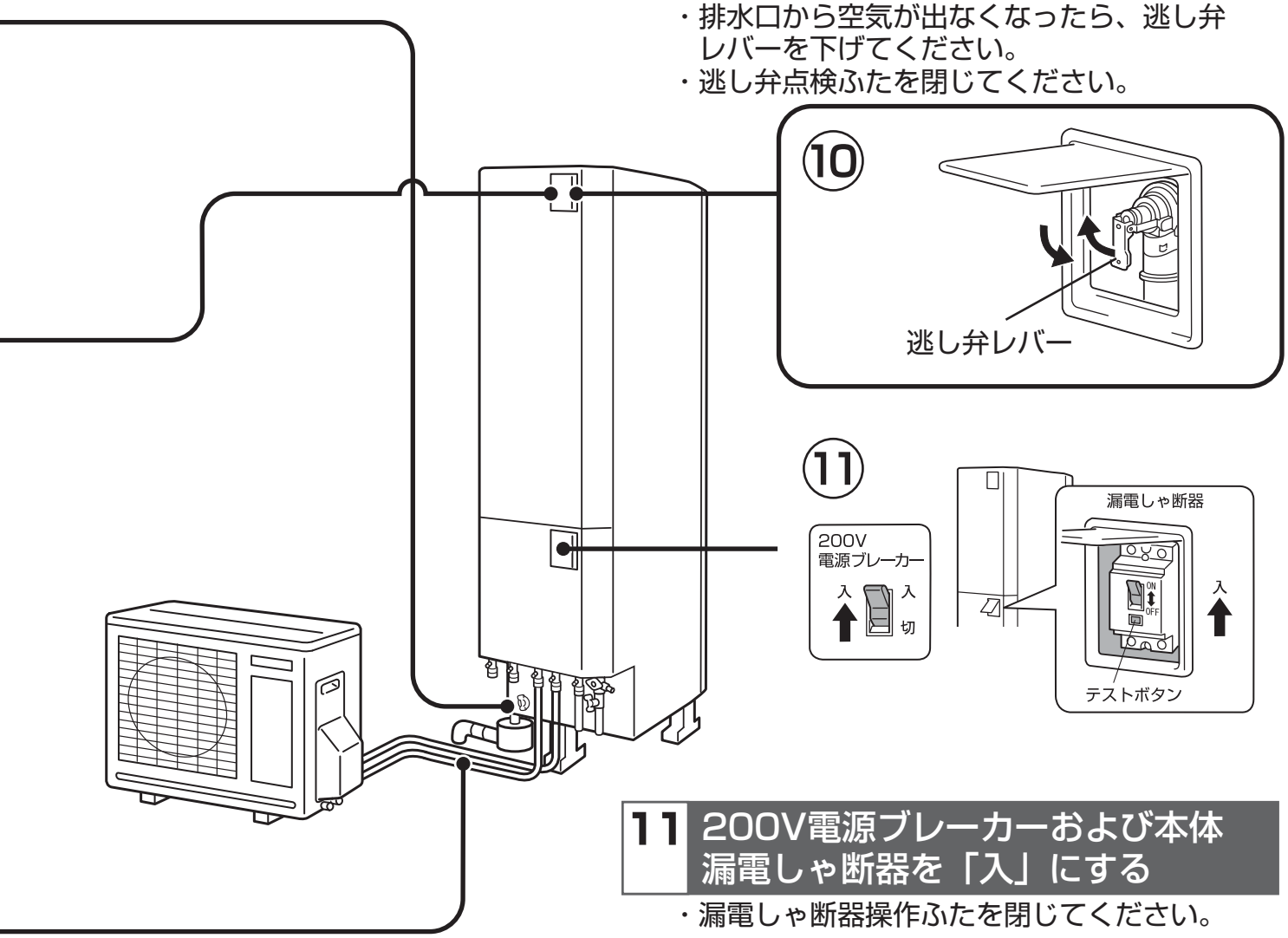




●貯湯タンクが満水でなかったり、ヒートポンプユニットの配管に空気が混じっているとヒートポンプ給湯機の故障の原因となります。

10 貯湯タンクユニットの逃し弁レバーを上げ、貯湯タンクユニット内の空気を取りのぞく

・排水口から空気が出なくなったら、逃し弁レバーを下げてください。
・逃し弁点検ふたを閉じてください。



11 200V電源ブレーカーおよび本体漏電しゃ断器を「入」にする

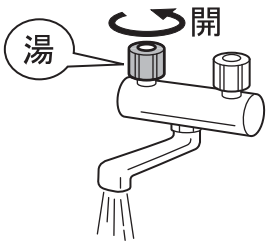
・漏電しゃ断器操作ふたを閉じてください。

※貯湯タンクの水が全量わき上がるのは翌朝です。おいそぎのときは、「わき増し」スイッチを2秒押し、「満タン」設定にして満タンにわき上げてください。

水栓の種類と操作方法

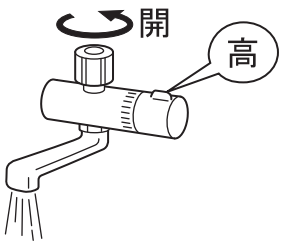
お湯の出し方は湯水混合水栓のタイプにより異なります。

2バルブタイプ
お湯側（給湯栓）を開く



シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く

サーモスタットタイプ
湯温調節つまみを「高」側にして給湯栓を開く



おもな操作方法

よく使う機能の操作方法

台所・洗面所でお湯を使う

台所リモコン

①「メニュー」スイッチを押す

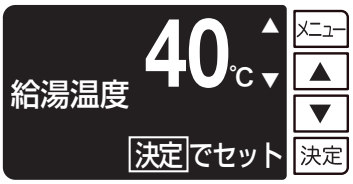
②「▼」スイッチを1回押す

③「決定」スイッチを押す

※台所優先に設定されている場合は
③の操作はありません。

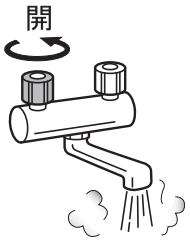
④「決定」スイッチを押す

⑤「▲」「▼」スイッチで温度を変更する



⑥「決定」スイッチを押す

⑦給湯栓を開く



※操作を中止したいときは再度「メニュー」
スイッチを押してください。

おふろにお湯をはる

ふろリモコン

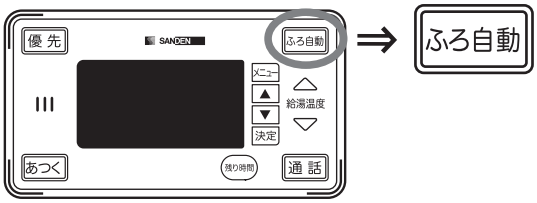
①「メニュー」スイッチを押す

②「決定」スイッチを押す

③「▲」「▼」スイッチで温度を変更する

④「決定」スイッチを押す

⑤「ふろ自動」スイッチを押す



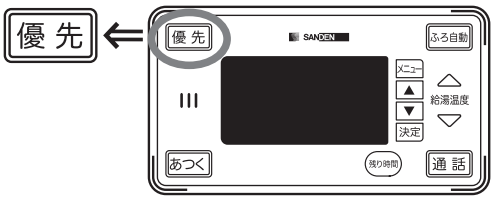
※設定した温度・湯量になると自動的に停止します。

※前回と同じ温度・湯量でお湯をはる場合は、「ふろ自動」スイッチを押すだけで行うことができます。

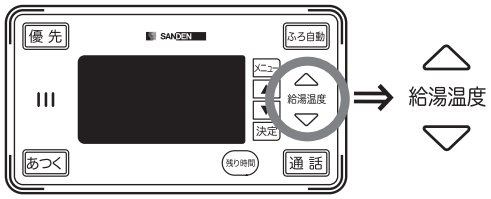
浴室でお湯・シャワーを使う

ふろリモコン

①「優先」スイッチを押す



②「給湯温度」スイッチを押し温度を変更する

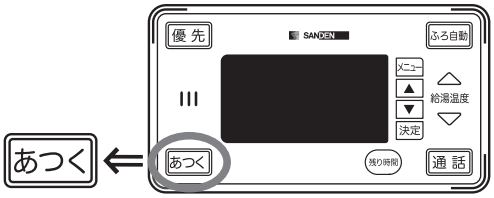


③給湯栓を開く

入浴中に湯温をあつくする

ふろリモコン

①「あつく」スイッチを押す

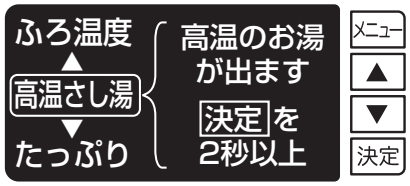


※中止したいときは再度押します。

あついお湯を足す（高温さし湯）

ふろリモコン

①「メニュー」スイッチを押す
②「▼」スイッチで 高温さし湯 を選択する



③「決定」スイッチを2秒以上押す

※中止したいときは、再度、高温さし湯を選択し、「決定」スイッチで中止します。

入浴中に湯温をぬるくする

ふろリモコン

①「メニュー」スイッチを押す
②「▲」「▼」スイッチで ぬるく を選択する

③「決定」スイッチを押す

※中止したいときは、再度、ぬるく を選択し、「決定」スイッチで中止します。

入浴中に湯量を多くする

ふろリモコン

①「メニュー」スイッチを押す
②「▲」「▼」スイッチで たっぷり を選択する

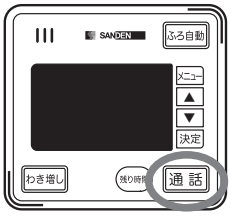
③「決定」スイッチを押す

※中止したいときは、再度、たっぷり を選択し、「決定」スイッチで中止します。

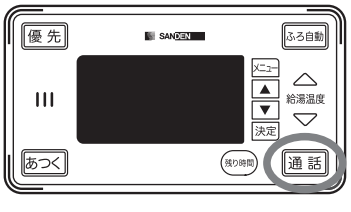
台所・ふろリモコンで通話する

①「通話」スイッチを押す

台所リモコン　**ふろリモコン**



台所リモコンから話すときは、「通話」スイッチを押しながら話す



ふろリモコンから話すときは、そのままリモコンに向かって話す

※中止したいときは再度押します。

使用上のお願いとお知らせ

リモコンの時刻が正しく表示しているかを確認してください。

●はじめて入居されたときや停電のときなどにリモコンの時刻が合っていないことがあります。その場合、「日付･現在時刻を合わせる」にしたがって現在時刻を設定してください。⇨P.18
●時刻が大幅にずれていますと、思わぬ電気代がかかります。
※正しく時刻を合わせても大幅に時刻がずれるときは、販売店にご相談ください。

湯切れにご注意ください。

●わき上げ湯量の設定によっては、お湯の使用量が多い場合、湯切れすることがあります。
・シャワーはこまめに止めてください。
・台所での流し洗いはぬるめの温度で使用してください。
●前日の浴そうの残り湯をわかし直しすると、貯湯タンクユニット内のお湯を多量に使用します。
(できるだけ行わないでください)
・残湯量表示で湯量を確認してください。
残湯量が少ないと湯切れする場合があります。

タオル、タイル目地などが青くなることがあります。

参考：社団法人　日本銅センター発行「銅と衛生」

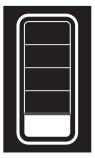
使用地域の水質により、ごくまれに薄青くなることがあります。これは、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応しておこるもので、人体に害はありません。井戸水や簡易水道での使用時に比較的おこりやすい現象です。
●タオルや布の場合
70～80 ℃のお湯に食酢を混ぜて10～15 %溶液を作り、浸漬すると脱色します。
●浴そうやタイル目地の場合
アンモニア水(10%溶液)を少量滴下して､スポンジなどでよくこすり、食酢などで中和し、水で洗い流してください。（一般家庭用のクレンザーなどでも落とせますが、あまり強くこすると傷がつきますのでご注意ください）

入浴剤などについて

次のような入浴剤などは使用しないでください。
（機器故障の原因となります）
● 生薬（葉、茎、その他固形のもの）
● ミルク成分配合
● 異種の入浴剤を同時に混ぜたもの
● 浴そう内でのせっけんの使用
※硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤は、それらの注意書をよく読んで、機器に影響のないものを使用してください。

リモコンの「残湯量表示」にご注意ください。

●リモコンの「残湯量表示」が下図のようになっていると使用できるお湯の量がわずかになっています。
⇨P.11



選べる電力料金契約

このヒートポンプ給湯機は契約の種類により、「時間帯別料金対応通電制御型」「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」のいずれかを使用できます。⇨P.8

このヒートポンプ給湯機は申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。
買い替えの場合でもご使用の前に、お買い上げの販売店または電力会社にお問い合わせください。

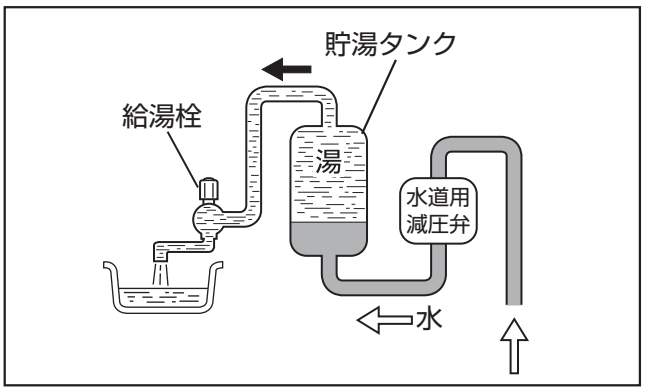
※契約を変更したい場合には、お買い上げの販売店または電力会社にご相談ください。

お湯を使う前に

やけど防止のため、混合水栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯栓を開き、温度を確かめてからお湯をお使いください。

お湯が出るしくみ

●貯湯タンクは、水道用減圧弁で一定の水圧に調整され、常に満水状態になります。
●給湯栓を開くと、貯湯タンク下部の給水口より自動的に給水され、貯湯タンク内のお湯は水道水の圧力で押し出されます。



日付・現在時刻を合わせる

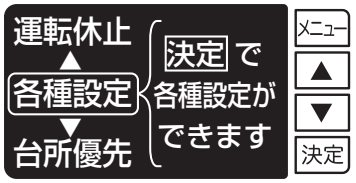
台所リモコンで日付と現在時刻を合わせます

■「現在時刻」を台所リモコンから必ず設定してください。
■「現在時刻」が合っていないと思わぬ電気料金がかかることがありますので、次の手順で「現在時刻」を合わせてください。
■台所リモコンの「現在時刻」を合わせると、ふろリモコンの時刻も同時に変更されます。

台所リモコン

①「メニュー」スイッチを押す

②「▲」「▼」スイッチで 各種設定 を選択し、「決定」スイッチを押す



③設定項目一覧表の先頭が、時刻設定 なので、そのまま「決定」スイッチを押す

④「▲」「▼」スイッチで、年・日付・時刻を合わせ、「決定」スイッチを押す

▲ ▼スイッチ

日付の場合は1日ずつ、時刻の場合は1分ずつ変わります。押し続けると、日付は1ヵ月ずつ、時刻は30分ずつ変わります。
（年は長押しができません）

●時刻が設定されていないときはリモコンに「未設定です」と時刻が「－－：－－」と表示されます。日付・現在時刻を合わせてください。
●時刻が設定されていないときにはヒートポンプのわき上げが行われません。
●長時間停電があったときは「停電がありました」と表示されます。
「決定」スイッチを押して運転を再開してください。このとき、時刻が消えている場合は、再度時刻を設定してください。

わき上げ湯量の選び方

わき上げ方法が選べます

■貯湯タンク内のお湯がなくならないように、お湯をわき上げます。
■「おまかせ」「マニュアル」「深夜のみ」の3通りがあります。
（設定のしかたは ⇨ P.21 ）
■お買い上げ時は、「おまかせ　少なめ」 に設定してあります。
■わき上げ温度は、ヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。
貯湯タンクにたまるお湯の温度は、ヒートポンプユニット配管や貯湯タンクユニットからの放熱によりわき上げ温度より低くなります。

「おまかせ」モード

設定表示	わき上げ温度	設定のめやす	注意点
少なめ	65℃～85℃	●最も節約してお湯をわかしたいとき 過去１週間の使用量に応じた湯温と湯量でわき上げます。	・「少なめ」で湯切れする場合は、「標準」「多め」を選択してください。 ・お湯が少なくなると昼間時間帯でも「わき増し」を行います。
標準	65℃～90℃	●節約してお湯をわかしたいとき 過去１週間の使用量に応じた湯温と湯量でわき上げます。	
多め	65℃～90℃	●お湯を多くわかしたいとき 過去１週間の使用量に応じた湯温で全量わき上げます。	

「マニュアル」モード

設定表示	わき上げ温度	設定のめやす	注意点
標準	70℃～85℃	●常に同じ量のお湯をわかしたいとき 外気温度により設定された湯温で全量わき上げます。	・「標準」で湯切れする場合は、「多め」を選択してください。 ・お湯が少なくなると昼間時間帯でも「わき増し」を行います。
多め	80℃～85℃		

※「おまかせ」「マニュアル」モードに設定されているとき、貯湯タンクのお湯が少なくなると、自動でわき増しを行い、湯切れを防止します。

「深夜のみ」モード

設定表示	わき上げ温度	設定のめやす	注意点
低温	65℃	●夜間時間帯のみでお湯をわかしたいとき夜間時間帯のみでわき上げます。	・お湯が少なくなっても昼間時間帯ではわき増ししません。 ・お湯が少なくなった場合には、「わき増し」スイッチで湯量を増やすことができます。
標準	75℃～85℃		
高温	85℃		

※「深夜のみ」モードの昼間時間帯ではわき増ししません。

夜間時間帯にお湯の使用量が多い方は（夜間設定）

「おまかせ」「マニュアル」モードで「夜間設定」を「あり」に設定しておくと、夜間時間帯にも貯湯タンク内のお湯が減るたびに自動でわき増しを行い、貯湯タンクの湯量を増やします。
夜間設定は一度設定すれば毎日操作する必要はありません。 ⇨ P.24

その他のわき増し操作

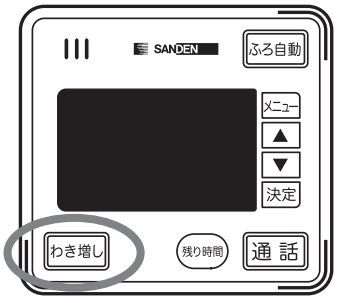
■すぐに貯湯タンクの湯量を増やしたいとき

お湯の残りが少なくなったときわき増しが行えます。各種設定で1回あたりのわき増し量が設定できます。 ⇨ P.24

※「わき増し」スイッチは他のわき増しが作動しているとき、および残湯量表示の目盛が満タンのときは、受け付けません。

台所リモコン

①「わき増し」スイッチを押す
わき増しランプ(橙)が点灯し、わき増しを開始します。

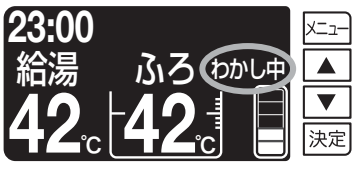


※中止したいときは、再度、「わき増し」スイッチを押して中止します。

ふろリモコン

①「メニュー」スイッチを押す
②「▲」「▼」スイッチで わき増し を選択する
③「決定」スイッチを押す
わき増しを開始します。

※「わかし中」が点滅します。



※中止したいときは、再度、わき増し を選択し、「決定」スイッチで中止します。

■翌朝までお湯を使わないとき

「おやすみ」設定 ⇨ P.36

■1日単位でお湯の使用量が多くなるとき

「満タン」設定 ⇨ P.36

運転モードの設定

運転モードが選べます

■「おまかせ」モード(3段階)、「マニュアル」モード(2段階)、「深夜のみ」モード(3段階)があります。

台所リモコン

①「メニュー」スイッチを押す

②「▼」スイッチを3回押し、「決定」を押す

※メニュースイッチを再度押すと初期画面にもどります。

■「おまかせ」をセットすると、多め・標準・少なめの選択画面に替わります

設定したい貯湯レベルを設定します
例：標準

■「マニュアル」をセットすると、標準・多めの選択画面に替わります

設定したい貯湯レベルを設定します
例：標準

■「深夜のみ」をセットすると、高温・標準・低温の選択画面に替わります

設定したい深夜わき上げ温度を設定します
例：標準

知っておいてください(優先設定)

台所、浴室でそれぞれお好みの給湯温度に設定できます

■優先表示が出ているリモコンで給湯温度の設定ができます。
浴室でお湯を使用するときは、浴室優先にしてください。台所優先のまま浴室でお湯を使用すると、台所で給湯温度を高く設定したときにやけど等の事故につながるおそれがあります。

■ふろリモコンの「浴室優先」スイッチが「切」になっているときに、「浴室優先」スイッチを「入」にすると“浴室優先”になります。もう一度押し「切」にするか、台所リモコンで 台所優先 を選択し、「決定」スイッチを押すと、浴室優先が“解除”になります。

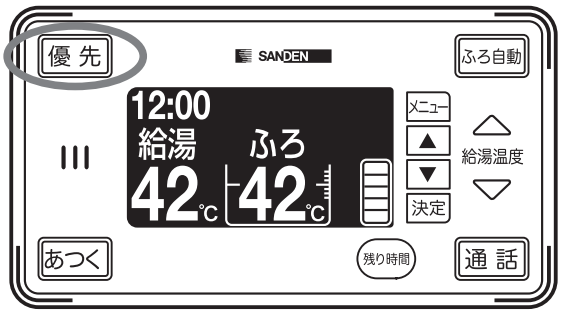
台所リモコン

①「メニュー」スイッチを押す
② 台所優先 を選択し、「決定」スイッチを押す

③台所リモコンで設定した給湯温度が表示される

ふろリモコン

①「浴室優先」スイッチを押す



※浴室優先ランプ(青)が点灯し、浴室優先になります。

●60℃設定していた場合、他のリモコンに優先が替わった後、再び優先をもどすと給湯温度は42℃となります。
●「浴室優先」スイッチを押し、優先ランプが点灯しているとき、ふろリモコンで給湯温度の変更が行えます。
●「浴室優先」スイッチで 浴室優先 にすると、ふろリモコンで設定した温度に切り替わります。
● 台所優先 にした場合は、台所リモコンで設定した温度に切り替わります。

知っておいてください(チャイルドロック)

お子さまのいたずらや誤操作を防ぎます

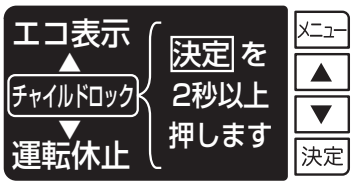
■台所リモコンのチャイルドロックを設定すると、ふろリモコンでの操作ができなくなります。
（チャイルドロック中のふろリモコンは、通話と残り時間表示以外の操作はできません）

チャイルドロックのしかた

台所リモコン

①「メニュー」スイッチを押す

②「▼」スイッチを5回押し、「決定」スイッチを2秒以上押す



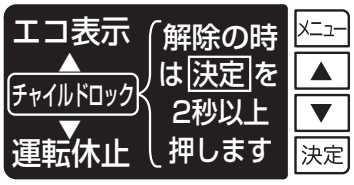
チャイルドロック中の画面

チャイルドロックの解除のしかた

台所リモコン

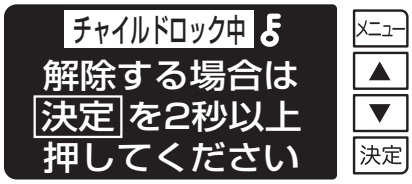
①「メニュー」スイッチを押す

②「▼」スイッチを5回押し、「決定」スイッチを2秒以上押す



ふろリモコン

①「メニュー」スイッチを押す



②「決定」スイッチを2秒以上押す

各種設定を切り替える(台所リモコン)

各種設定を切り替えます

台所リモコン

例：給湯制限の選択

①「メニュー」スイッチを押す

②「▲」スイッチを2回押し
「決定」スイッチを押す

③「▼」スイッチを3回押し
「決定」スイッチを押す

④「▼」スイッチを押し
「決定」スイッチを押す

各種設定の項目一覧

項　　目	内　　容	設定範囲
時刻設定	日付と時刻の設定ができます。	現在時刻（24時間表示)、年月日
保温時間	ふろ自動運転のお湯はり後の保温時間が設定できます。	なし、1、2、3、4、5時間
わき増し量	わき増し時の１回あたりのわき増し量が設定できます。	1、2、3レベル(1レベルのめやすは残湯表示の目盛１個分)
給湯制限	60℃給湯15分制限機能のありなしが設定できます。給湯温度を60℃に設定したとき、設定から15分後に自動的に42℃設定にもどす機能です。	あり、なし
画面消灯	お湯を使わなかったり、リモコンを操作しないまま時間が経過すると表示を消灯します。 ・画面消灯30分、スクリーンセーバーあり 10分間点灯したあと、20分間スクリーンセーバーになり消灯します。 ・画面消灯30分、スクリーンセーバーなし 30分間点灯したあと、消灯します。	1分、10分、30分(30分はスクリーンセーバーあり・なしを選択)
音量	音声ガイドの音量が設定できます。	なし、小、中、大
明るさ	表示画面の明るさが設定できます。	暗い、普通、明るい
呼出メロディ	通話を知らせるメロディが設定できます。	1、2、3
入浴メロディ	お湯はり完了を知らせるメロディが設定できます。	1、2、3
夜間設定	夜間わき増しのありなしが設定できます。	あり、なし
連絡先	台所リモコン・ふろリモコンで連絡先が設定できます。	0120330515

はお買い上げ時の設定です

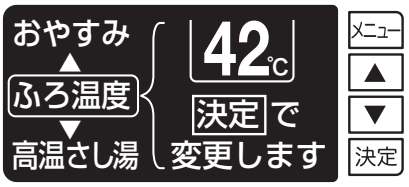
各種設定を切り替える(ふろリモコン)

各種設定を切り替えます

ふろリモコン

例：水位ピッチの変更

①「メニュー」スイッチを押す



②「▲」スイッチを2回押し
「決定」スイッチを押す

③「▼」スイッチを2回押し
「決定」スイッチを押す

④「▲」スイッチを押し
「決定」スイッチを押す

各種設定の項目一覧

項　　目	内　　容	設定範囲
保温時間	ふろ自動運転のお湯はり後の保温時間が設定できます。	なし、 1、2、3、4、5時間
自動洗浄	自動洗浄のありなしが設定できます。おふろの排水時に、水位が低下すると10L給水する機能です。	あり、なし
水位ピッチ	ふろ水位設定の一目盛当たりの水位が設定できます。	2cm、4cm
水位回復	ふろ水位の自動回復のありなしが設定できます。	あり、なし
画面消灯	お湯を使わなかったり、リモコンを操作しないまま時間が経過すると表示を消灯します。 ・画面消灯30分、スクリーンセーバーあり 10分間点灯したあと、20分間スクリーンセーバーになり消灯します。 ・画面消灯30分、スクリーンセーバーなし 30分間点灯したあと、消灯します。	1分、10分、30分 (30分はスクリーンセーバー あり・なしを選択)
音量	音声ガイドの音量が設定できます。	なし、小、中、大
明るさ	表示画面の明るさが設定できます。	暗い、普通、明るい
呼出メロディ	通話を知らせるメロディが設定できます。	1、2、3
連絡先	台所リモコン・ふろリモコンで連絡先が設定できます。	0120330515

はお買い上げ時の設定です

●スクリーンセーバー

画面を保護するために表示が右から左へ移動します。
停止させたいときは、「メニュー」スイッチを押してください。

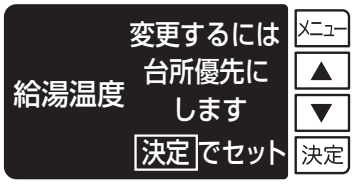
台所・洗面所でお湯を使う

給湯温度を設定します

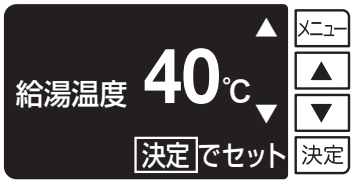
台所リモコン

①「メニュー」スイッチを押す
② 給湯温度 を選択し、「決定」スイッチを押す

③ 台所優先でない場合、「決定」スイッチを押し、台所優先にする
（すでに台所優先の場合は不要）

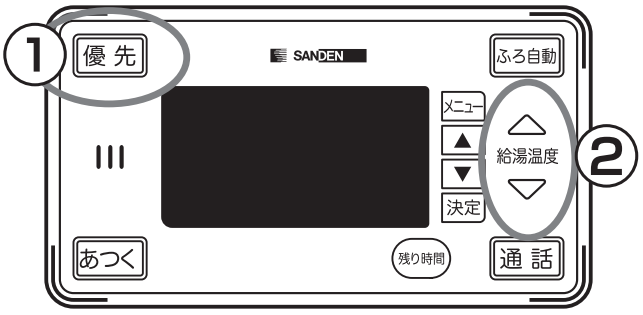


④「▲」「▼」スイッチで設定したい給湯温度に変更し（36～48℃、60℃）「決定」スイッチを押す



ふろリモコン

①「浴室優先」スイッチを押す
（優先ランプ(青)が点灯する）
②「給湯温度」スイッチで、給湯温度を変更する（36～48℃、60℃）



■給湯中の温度変更について
給湯中は、60℃への温度変更はできません。48℃から「▲」スイッチを押した場合、警告音が鳴り操作は受け付けません。

■給湯温度60℃、15分制限について
安全のため、給湯温度を60℃に設定した場合、15分後に42℃設定に自動で切り替わります。15分以上継続して使用する場合は制限を解除してください。
⇨ P.24

- ●優先表示の出ているリモコンの設定温度でお湯が出ます。「優先設定について」 ⇨ P.22
- ●前回使用したときと同じ設定温度で使用するときは、温度を設定し直す必要はありません。
- ●表示されている給湯温度の数字は「設定値」です。じゃ口、シャワーなどの湯温とは多少異なる場合があります。
- ●水栓のタイプによっては、じゃ口から出るお湯の量が少なくなる場合があります。そのときはお湯の温度設定を高めにし、水と混合してご使用ください。
- ●浴そうへのお湯はり中は、じゃ口、シャワーから出るお湯の量が少なくなる場合があります。
- ●水栓のタイプにより操作方法が異なります。 ⇨ P.14
- ●リモコン画面が点灯中にお湯を使用すると、画面消灯まで時間が長くなることがあります。

サーモスタットタイプの湯水混合水栓使用の場合

- ・サーモスタットタイプの湯水混合水栓をご使用の場合は、リモコンの温度設定を使用されるお湯の温度より5℃以上高い温度に設定してください。
（例：湯温調節つまみの設定：40℃→リモコンのお湯の温度設定：45℃）
混合水栓の種類によっては設定温度にならない場合があります。
- ・シャワーの給湯温度を変更する場合は、必ずふろリモコンの「浴室優先」スイッチを押し、浴室優先にしてから変更してください。浴室優先にしないで台所リモコンで温度設定を上げた場合は、やけどのおそれがあります。

ふろ温度・湯量（水位）の設定

おふろの温度・水位を設定します

ふろリモコン

ふろ温度の設定

①「メニュー」スイッチを押す

②「決定」スイッチを押す

③「▲」「▼」スイッチで温度を変更する

④「決定」スイッチを押す

湯量（水位）の設定

①「メニュー」スイッチを押す
②「▼」スイッチを4回押す

③「決定」スイッチを押す

④「▲」「▼」スイッチで水位を設定する

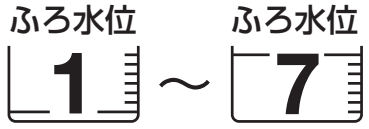
⑤「決定」スイッチを押す

■水位2は、ふろ循環口より約14～19cm上の位置になります。
一目盛当たりの水位は、ふろリモコンの各種設定の「水位ピッチ」で設定した値（2cmまたは4cm）になります。⇨ P.25

■下記の場合は、お湯のあふれに注意し、ふろ湯量を設定してください。
・洋風バスなどの浅い浴そうをご使用のとき
・ふろ循環口の取り付け位置が高いとき
・水位設定が高いとき

●お買い上げ時の湯量（水位）は2に設定されています。
湯量が少ない場合：設定を大きくする
湯量が多い場合　：設定を小さくする

●リモコンの表示は下図のようになります。



（7段階）

●ふろ温度表示の数字は「設定値」の表示です。浴そう内の温度とは多少異なる場合があります。

●ふろ自動運転中は、水位が下がってもすぐには回復しない場合があります。

湯量(水位)とふろ循環口からの高さ（めやす）

	循環口上からの高さ	
水位ピッチ	水位1	水位7
ピッチ 2cm (出荷時の設定)	12cm	24cm
ピッチ 4cm (ふろリモコンで選択)	10cm	34cm

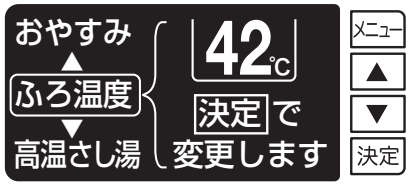
ふろ自動保温時間の設定

お湯はり後の保温時間を設定します

■ふろ自動保温時間は、設定した時間（なし～5時間)、自動でおふろの温度と水位を保持します。
■お湯はりが完了してからの時間です。

ふろリモコン

①「メニュー」スイッチを押す



②「▲」スイッチを2回押して、「決定」スイッチを押す

③「決定」スイッチを押す

④「▲」「▼」スイッチで時間を選択し、「決定」スイッチを押す

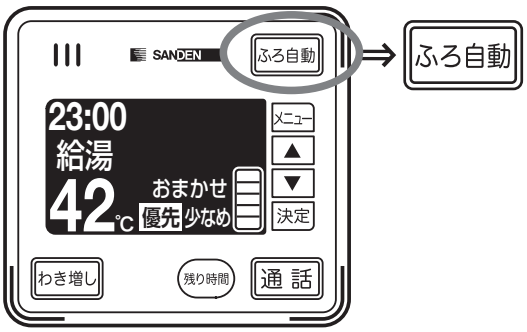
●ふろ自動保温時間を「なし」に設定すると、おふろのお湯はりが完了した時点でふろ自動運転を停止し、自動保温、自動足し湯は行いません。
●ふろ自動保温時間の設定は、台所リモコンでも行えます。

お湯はりをする

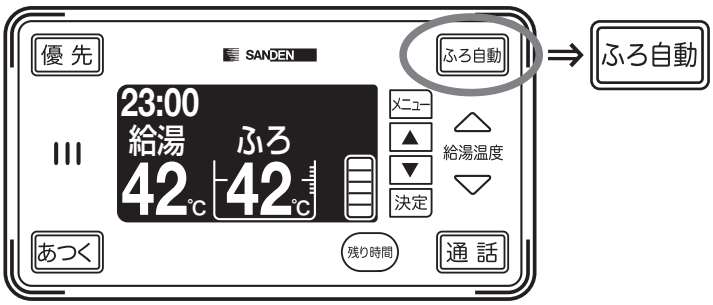
おふろにお湯をはります

①リモコンの「ふろ自動」スイッチを押す（ふろ自動ランプ(橙)が点灯する）

台所リモコン



ふろリモコン



湯はり中表示

湯はり中表示

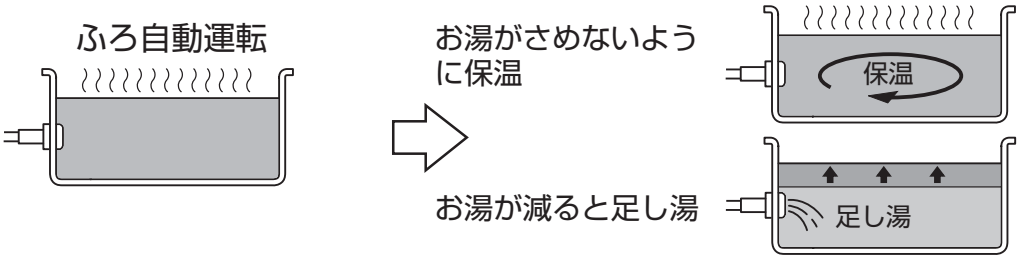
矢印がアニメーション表示されます

お湯はりを途中で止めたり、保温を中止する場合はもう一度「ふろ自動」スイッチを押す

■お湯はりが完了すると

お湯はりが完了すると、画面表示・音声でお知らせして自動保温・自動足し湯運転となります。

※画面消灯している場合は、ふろ自動ランプが点滅します。



・ふろ自動運転は、お湯はり開始から1～5時間継続されます。
ふろ自動運転時間は変更できます。 ⇨ P.28
自動運転時間が終了するとふろ自動ランプが消え、自動保温、自動足し湯を行いません。
ふろ自動運転を続けたいときは再度「ふろ自動」スイッチを押してください。
・ふろ自動運転を途中で止めるときは、再度「ふろ自動」スイッチを押してください。

●保温中にふろ循環口から設定温度より高い温度のお湯が出る場合がありますので、ふろ循環口から離れてください。
●浴そうの水を排水するときは、必ずふろ自動運転を停止させてください。
●残湯量表示の目盛がゼロでは操作を受け付けません。
●お湯はり中は、両方のリモコンの画面が点灯します。
お湯はり完了後の保温中も、ふろリモコンの画面は点灯することがあります。

お湯はりの予約をする（入浴予約）

お湯はり完了時刻の予約をします

■予約する前にリモコンの現在時刻が合っているか確認してください。
■ふろリモコンでは、入浴予約の設定はできません。

台所リモコン

入浴予約を設定する場合

①「メニュー」スイッチを押す

②「▼」スイッチを2回押す

③「決定」スイッチを押す

④「▲」「▼」スイッチで入浴時刻設定する

⑤「決定」スイッチを押す

入浴時刻表示の画面

入浴予約を中止する場合

①「メニュー」スイッチを押す

②「▼」スイッチを2回押す

③「決定」スイッチを押す

●24時間以上先の予約はできません。
●入浴予約時は予約時刻より早くお湯はりを完了するようになっていますが、お湯はりを完了する時刻は、水圧等の条件により設定時刻に対して多少前後します。
●入浴予約時に「ふろ自動」スイッチを押すと運転開始しますが、再度押すとふろ自動運転が解除します。
●入浴時刻より早く、お湯はりをしたいときは、「ふろ自動」スイッチを押すと入浴予約が解除になり、お湯はりを開始します。
●残湯量表示の目盛がゼロのときは、現在時刻から30分以内の予約はできません。
●予約時刻30分前に残湯量表示の目盛がゼロのときは、お湯はりを開始しません。

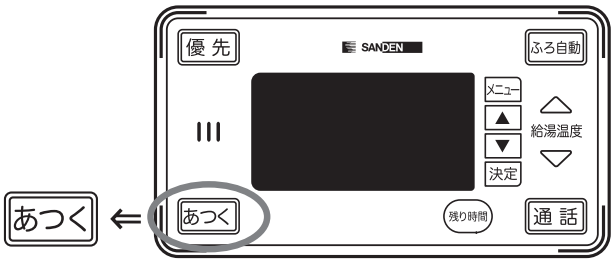
湯かげんの調節をする

入浴中に湯かげんの調節をします

ふろリモコン

あつくしたいとき

①「あつく」スイッチを押す



あつくランプ(橙)が点灯し、おふろのお湯を循環させて、お湯を温めます。おふろの湯温を設定温度より約2℃あつくします。おふろの湯温が設定温度より低いときは、設定温度まであつくします。

※中止したいときは再度押します。

ぬるくしたいとき

①「メニュー」スイッチを押す
②「▼」スイッチを3回押す

③「決定」スイッチを押す

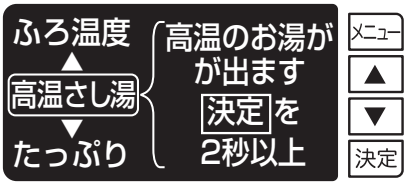
約10L水が注ぎ足されます。

※中止したいときは、再度、ぬるく を選択し、「決定」スイッチで中止します。

高温さし湯

①「メニュー」スイッチを押す
②「▼」スイッチを押す
③「決定」スイッチを2秒以上押す

湯温60℃で約20L湯が注ぎ足されます。



※中止したいときは、再度、高温さし湯 を選択し、「決定」スイッチで中止します。

浴そうの残り湯のわかし直し

浴そうに残り湯があるときは「ふろ自動」スイッチを押す

・設定した湯量（水位）までお湯はりした後、設定したふろ温度まであつくします。
・前日の残り湯をわかし直しすると、貯湯タンク内のお湯を多量に使いますので、できるだけ行わないでください。

- ●湯切れ注意表示が点滅するときは貯湯タンク内のお湯が少ないため、「わき増し」スイッチを押し、お湯をわき上げてください。 ⇨ P.20
- ●高温さし湯、あつく操作を行うと、ふろ循環口からは設定温度よりも高い温度のお湯が出ますので、ふろ循環口から離れてください。
- ●高温さし湯を選択すると貯湯タンク内のお湯を使い、浴そうのお湯をあつくします。
- ●高温さし湯またはぬるく操作が完了したとき、および途中で止めた後もしばらくお湯や水が出ますが、異常ではありません。
- ●高温さし湯、あつく操作を行うと、はじめに、配管内に残っているぬるい水が出る場合があります。
- ●高温さし湯、あつく、ぬるくを行っているあいだはふろリモコンの画面が点灯します。
- ●貯湯タンク内の湯温が低い場合、または浴そう内の湯温が低い場合は、「あつく」スイッチの操作が完了するまでの時間が長くなることや、途中で「あつく」スイッチの操作が取り消される場合があります。
- ●浴そう内の水位がふろ循環口より上の位置にないときは、高温さし湯、あつく動作は行いません。

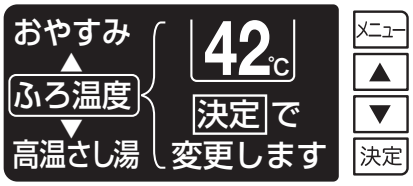
湯量を多くする

入浴中に湯量の調節をします

ふろリモコン

入浴中に湯量の調節をする

①「メニュー」スイッチを押す



②「▼」スイッチを2回押す

③「決定」スイッチを押す

※中止したいときは、再度、たっぷりを選択し、「決定」スイッチで中止します。

ふろリモコン設定温度で約20Lお湯が注ぎ足されます。

●湯量が少なくなって、ふろ温度が低い場合は、「たっぷり」ではなく「高温さし湯」を使用してください。
●残湯量表示の目盛がゼロのときは、「たっぷり」を受け付けません。

使用状況を確認したいとき(エコ表示)

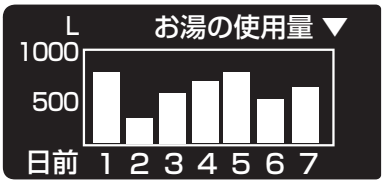
現在の使用状況を確認します

台所リモコン

①「メニュー」スイッチを押す
②「▼」スイッチを4回押す
③「決定」スイッチを押す

エコ表示画面について

①お湯の使用量を7日前までグラフで表示する



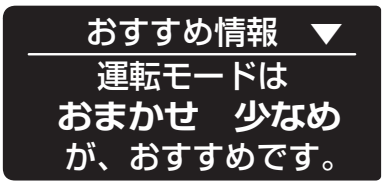
②「▼」スイッチを押すとお湯の使用量（数字）に切り替わる

・お湯の使用量（前日）を表示中に「決定」スイッチを押す度に１日前を表示します。7日前から決定を押すと前日にもどります。

③「▼」スイッチを押すとエコ診断に切り替わる

・7日前までのエコ診断を表示します。
★の数が多いほど、選択している「運転モード」に対してお湯を節約できたことを示しています。

④「▼」スイッチを押すとおすすめ情報に切り替わる



・運転モードのおすすめ情報を表示します。
・「深夜のみ」モード中は前回表示のままです。

・おすすめ情報でもう一度「▼」スイッチを押すと、お湯の使用量にもどります。

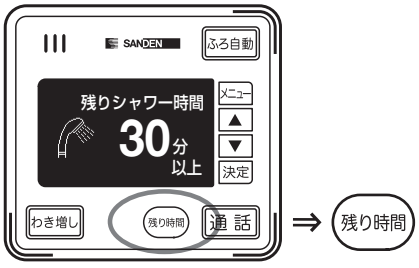
●停電があった場合は実際の値とずれが生じることがあります。
●ふろリモコンでも操作できます。
●「メニュー」スイッチで元の画面にもどります。

使えるお湯の量を知りたいとき(残り時間)

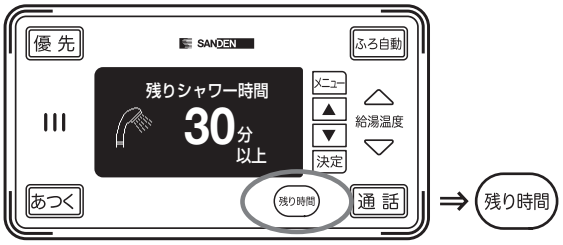
42℃のお湯があと何分使えるかのめやすを表示します

①「残り時間」スイッチを押す

台所リモコン



ふろリモコン



・42℃・12L/分のお湯があと何分使用できるかのめやすが表示されます。
・5秒経過したら初期画面にもどります。
・混合水栓を使用しているときは値がずれることがあります。

リモコンで通話をするとき

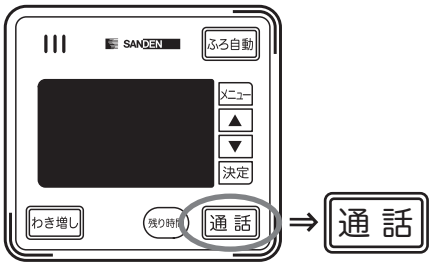
台所リモコンとふろリモコンのあいだで通話ができます

■「通話」スイッチを押すと、通話ランプ(緑)が点灯します。メロディが鳴り終わってから通話してください。
■両方から同時に話すことはできません。相手の話が終わってから話してください。
■再度通話スイッチを押すと、通話ランプ(緑)が消灯して通話が終了します。
■通話は、30分後自動的に終了します。

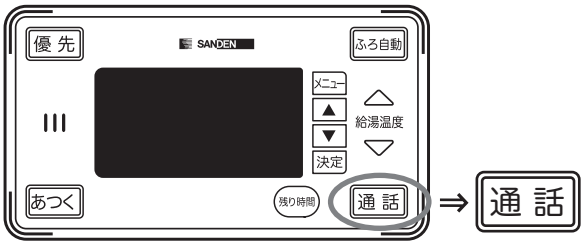
通話のしかた

①「通話」スイッチを押しリモコンに向かって話しかける

台所リモコン



ふろリモコン



ふろリモコンはそのまま通話を開始できますが、台所リモコンは「通話」スイッチを押したままでないと相手に話すことができません。

「通話」スイッチを押し、通話ランプが点灯すると、表示が替わります

「話す」表示
相手に話すことができます。

「聞く」表示
相手の話を聞くことができます。相手が話しているときは話しかけても伝わりません。

●通話中はリモコンが点灯します。

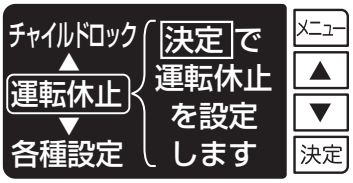
数日間わき上げを休止するとき(運転休止)

旅行などでお湯を使用しないときに、わき上げを休止します

「運転休止」の設定

台所リモコン

①「メニュー」スイッチを押す
②「▲」スイッチを3回押す



③「決定」スイッチを押す
④「▲」「▼」スイッチで運転休止したい日数を選択する

⑤「決定」スイッチを押す

●出荷時設定　：しない
●設定可能範囲：2日～14日

わき上げ休止日数の決め方

**例えば、3泊4日の旅行に出かけるとして、
出発日が9月1日、帰宅日が9月4日であった場合**

●出発日の9月1日に設定する場合は、運転休止日数を『3』に設定します。
※1日、2日、3日の昼間の3日間の使用を止めるので設定値は『3』となります。

8月　9月

31日	1日	2日	3日	4日

運転休止日数『3』

●出発日前日の8月31日に設定する場合は、運転休止日数を『4』に設定します。
※31日、1日、2日、3日の4日間の使用を止めるので設定値は『4』となります。
（設定した日から休止されるので、出発日にはお湯が使用できません）

8月　9月

31日	1日	2日	3日	4日

運転休止日数『4』

●運転休止日数を解除すると、翌朝からお湯が使用できるようになります。
設定した予定日より早く帰宅したときなど、すぐその日にお湯を使用したい場合は、「わき増し」スイッチを押してください。

■運転休止中でも、配管凍結予防のためヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
■休止日数の表示は、1日ごとに減っていきます。
■運転休止中は、お湯はりなど、給湯以外の運転はできません。
■前日に運転休止日数を設定する場合は、夜間時間帯前に設定してください。
（夜間時間帯開始時刻をすぎてから設定を行うときは、出発日からの日数に設定してください）
■休止中に配管凍結のおそれがある場合は、浴そうの水をふろ循環口の上から10cm以上はった状態にしておいてください。⇨ P.44

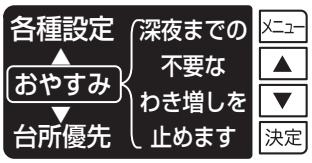
翌朝までお湯を使わないとき(おやすみ)

夜間時間帯までわき上げを停止し、電気代を節約します

「おやすみ」の設定

台所リモコン　　ふろリモコン

①「メニュー」スイッチを押す
②「▲」スイッチを押す



③「決定」スイッチを押す

・入浴後など、翌朝までにあまりお湯を使用せず、残りのお湯で十分なときに設定すると効果的です。

●残湯量と運転モードによっては、夜間時間帯に入ってすぐにわき上げを開始することがあります。

※中止する場合は、再度おやすみを選択し、「決定」スイッチを押します。

お湯が不足しそうなとき(満タン)

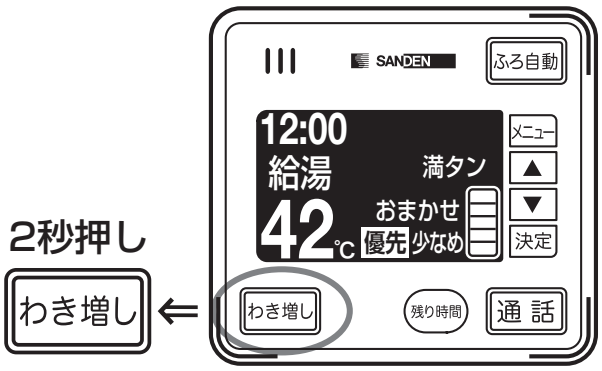
設定から24時間、常に貯湯タンクを全量わき上げます

■「満タン」を設定すると、時間帯や残湯量に関わらず、24時間は常に貯湯タンクを全量わき上げます。急な来客時など、お湯をたくさん使用する場合に便利な機能です。「満タン」設定を解除しない限り常に貯湯タンクを全量わき上げます。
■「満タン」設定から24時間経過すると、自動的に解除されます。
■台所リモコンで「エコ表示」を行っているときは「満タン」には設定できません。

「満タン」の設定

台所リモコン

①「わき増し」スイッチを2秒以上押す



わき増しランプ(橙)が点灯します。

ふろリモコンの表示画面

※中止する場合は、再度操作します。

●昼間および、朝・晩時間帯にわき上げをしますので、電気料金が割高になります。

ふろ配管の洗浄

ふろ配管の洗浄方法は、3種類あります

自動洗浄

ふろリモコン

自動洗浄を設定すると、浴そうのお湯を排水するときに自動的に約10Lの水を配管に流して、配管内の汚れた湯水を流し出します。

①「メニュー」スイッチを押す

②「▲」スイッチを2回押して、「決定」スイッチを押す

③「▼」スイッチを押して、「決定」スイッチを押す

④「▼」スイッチを押して、「決定」スイッチを押す

●配管自動洗浄は配管内の汚れた湯水を流し出すものであり、洗浄剤は不要です。
●配管自動洗浄「あり」のときはお湯はり後の毎回排水時、自動的に配管洗浄を行います。
●配管自動洗浄の設定は、一度設定すると記憶されます。
毎回設定する必要はありません。

配管洗浄

ふろリモコン

配管洗浄 を設定すると、約10Lの水を配管に流して、配管内に残った汚れた湯水を流し出します。

①「メニュー」スイッチを押す
②「▲」スイッチを5回押す

③「決定」スイッチを2秒以上押す
④配管洗浄を開始します

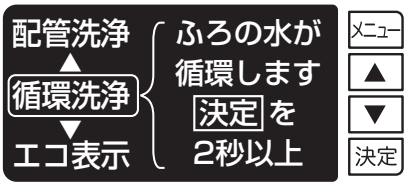
●給湯（湯水混合水栓、シャワー）をしているときは、配管洗浄は操作できません。
●給湯をしていないときに、再度操作してください。

循環洗浄

ふろリモコン

循環洗浄 を設定すると、約20分間配管内の湯水を循環させ、配管内に残った汚れた湯水を流し出します。循環洗浄が終了したら、排水をしてください。

①浴そうの排水栓を閉め、循環口の上約5cmまで水（お湯）を入れる
②市販の浴そう1つ穴用の洗浄剤を入れる（洗浄剤の説明書にしたがってください）
・推奨洗浄剤：ジョンソン株式会社製『ジャバ1つ穴用』
③「メニュー」スイッチを押し、「▲」「▼」スイッチで 循環洗浄 を選択し「決定」スイッチを2秒以上押す



④循環洗浄を開始します
⑤20分経過後、循環が終了したら浴そうの排水栓を開け、おふろの水を全て排水する
・汚れが落ちない場合は、再度、①②③④⑤の手順を行ってください
⑥浴そうの排水栓を閉め循環口の上約5cmまで水（お湯）を入れる
⑦再度③④⑤の操作を行い、配管のすすぎを行う
※ここでは洗浄剤を入れないでください。
⑧20分経過後、循環が終了したら浴そうの排水栓を開け、おふろの水を全て排水する
⑨浴そうの清掃をする

断水時に生活用水として使う

地震などの災害時や断水時に、貯湯タンク内の水を生活用水としてお使いいただけます

生活用水としての使い方

1 貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器を「切」にする

2 配管カバーを外す

3 給水止水栓を閉じる

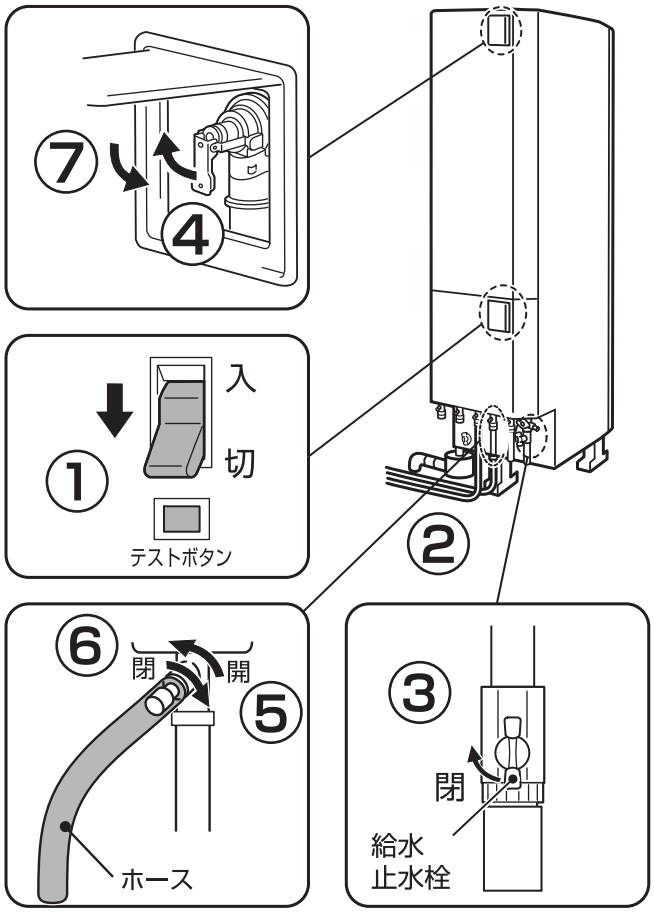
4 逃し弁レバーを上げる

5 水抜き栓をゆるめ、バケツなどの容器を用意して、お湯または水を出す

・使い始めは湯あかなどが出ますので、流してすててください。
・水抜き栓に市販のホースを接続すると便利です。

6 使用後は水抜き栓を右に回し、お湯または水を止める

7 逃し弁レバーを下げる



再使用するとき

1 給水止水栓を開く

2 配管カバーを組み付ける

3 逃し弁レバーを上げる

・貯湯タンクを満水にします。
・排水口から水が出始めたら、貯湯タンクは満水です。
・満水にしないと、給湯機の故障の原因になります。

4 逃し弁レバーを下げる

・逃し弁点検ふたを閉じてください。

5 混合水栓のお湯側を開く

・混合水栓から水が出ることを確認してください。

6 混合水栓のお湯側を閉じる

7 貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器を「入」にする

・漏電しゃ断器操作ふたを閉じてください。

8 現在時刻を合わせる

⇨P.18

●貯湯タンク内の水の飲用はお避けください。
●貯湯タンクを満水にしてから運転してください。

点検とお手入れ

手順にしたがって行ってください

日常のお手入れ

■リモコン

乾いた布または水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。
・ベンジン、シンナー、洗剤などは使わないでください。
・リモコンの内部には電気部品が入っていますので、水が入らないようにしてください。
・リモコンには水や汚水をかけないでください。

■貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット

乾いた布でふくか、中性洗剤をうすめて布にふくませてふいてください。
・ベンジン、シンナー、洗剤などは使わないでください。

1ヵ月に1回のお手入れ

■貯湯タンクユニットの掃除

残湯量が少ないときに行ってください。

1 漏電しゃ断器操作ふたを開け、漏電しゃ断器を「切」にする

2 配管カバーを開け、給水止水栓を閉じる

3 逃し弁レバーを上げる

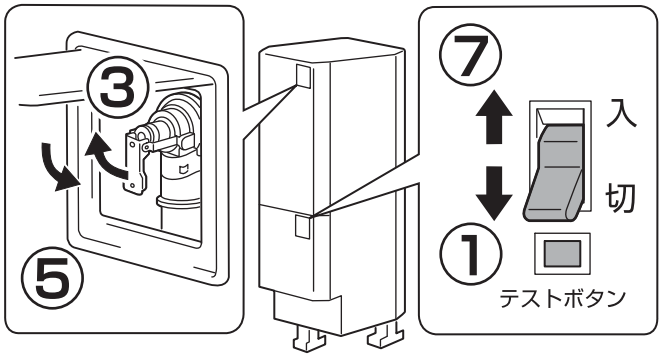
4 排水栓を開けて約2分間排水する

※お湯が出てくる場合があります。
やけどにご注意ください。

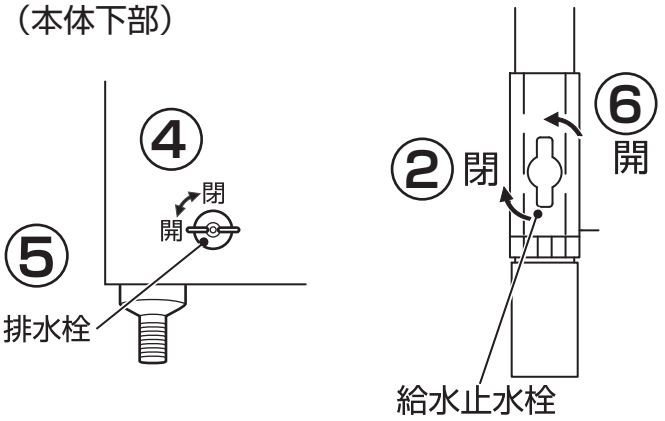
5 排水栓を閉じ､逃し弁レバーを下げる

6 給水止水栓を開け、配管カバーを組み付ける

7 給湯栓を開き、水(お湯)が出ることを確認後漏電しゃ断器を「入」にし漏電しゃ断器操作ふたを閉める



（本体下部）

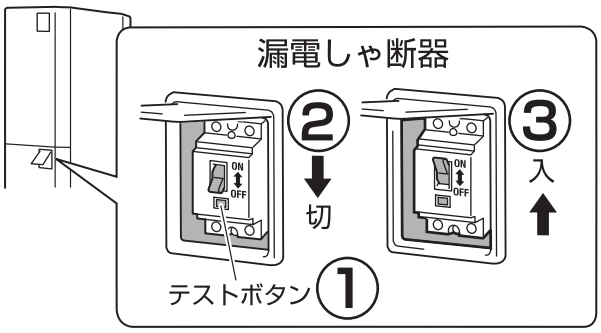


■漏電しゃ断器の作動確認

1 漏電しゃ断器操作部ふたを開け、テストボタンを押す

2 漏電しゃ断器が「切」になることを確認する

3 漏電しゃ断器を「入」にして、漏電しゃ断器操作ふたを閉める



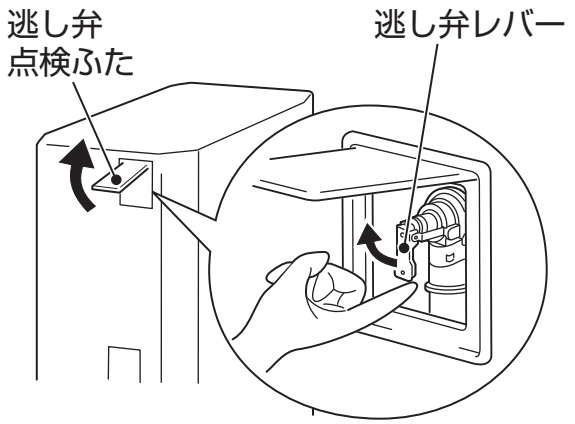
点検とお手入れ

手順にしたがって行ってください

■逃し弁の点検

作動点検

1. 逃し弁点検ふたを開け、逃し弁レバーを上げる
2. 排水口からお湯(水)が出ることを確認する
3. 逃し弁レバーを下げ、逃し弁点検ふたを閉める



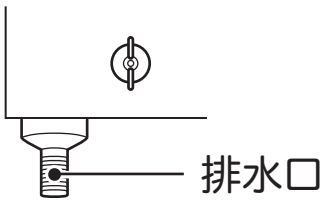
水漏れ点検

1. わき上げ中でないことを台所リモコンで確認する
2. 排水口からお湯(水)が出ていないことを確認する

▶

●排水口からお湯(水)が出ている場合は逃し弁レバーを数回上下に動かし、排水口からお湯(水)が止まるかを確認してください。

※上記を行っても排水口からお湯（水）が出続けている場合は、販売店にご連絡ください。

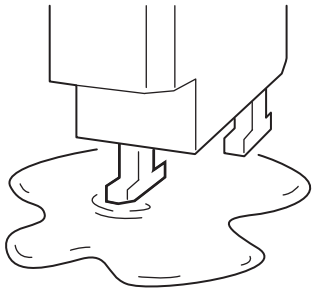


●わき上げ中は、水からお湯になるときの膨張水が、排水口より排出されますが故障ではありません。

■貯湯タンクユニットの水漏れ点検

1. 貯湯タンクユニットを設置した床面に水が漏れていないか確認する

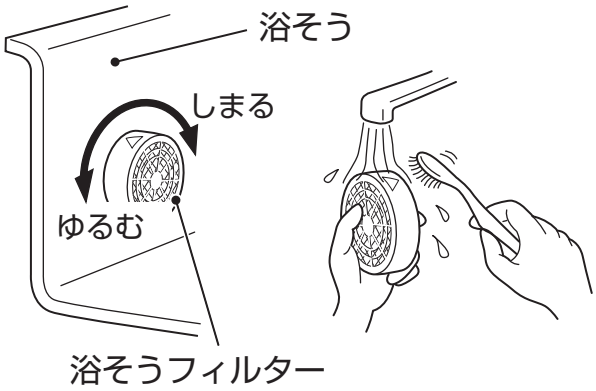
※特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。



■浴そうフィルターの清掃

1. 浴そうフィルターを外す
2. 歯ブラシなどで水洗いする
3. 浴そうフィルターを元の位置に取り付ける

※浴そうフィルターがゆるんだ状態または、外れた状態で使用しないでください。

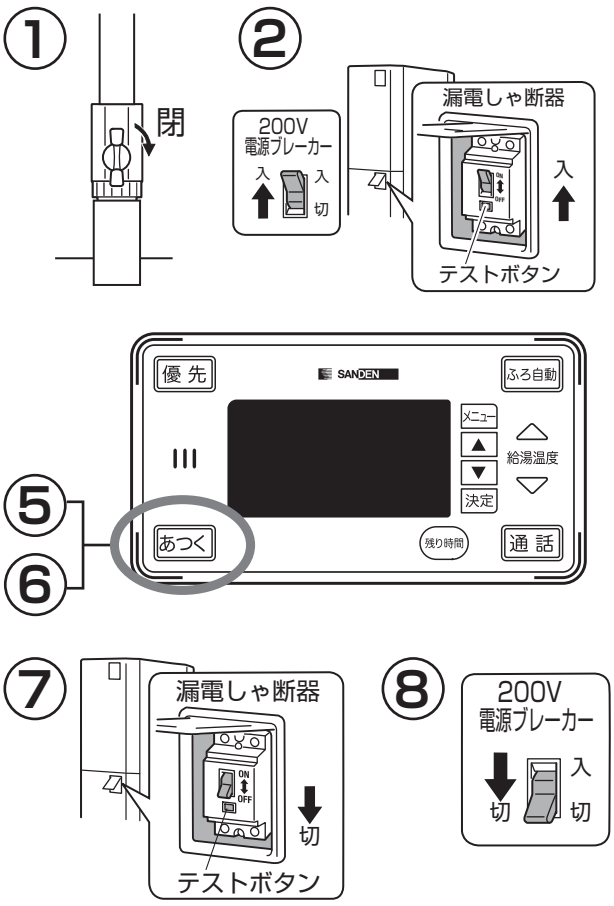


長期間しないときは（1ヵ月以上使わないとき）

ふろ循環配管の水抜き、貯湯タンクユニットの水抜き、ヒートポンプユニットの水抜きの順で行ってください。

■ふろ循環配管の水抜き

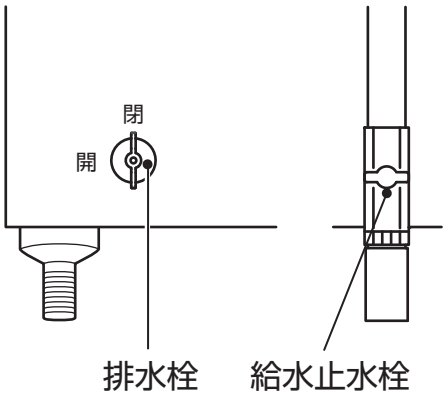
1. 給水止水栓を閉じる
2. 200V電源ブレーカー（配線用しゃ断器）と貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器の「入」を確認する
3. 浴そうの栓を抜き、浴そうを空にする
4. ふろリモコンの画面が点灯することを確認する
5. 「あつく」スイッチを押す
6. ふろ循環口から水が出なくなったら再度「あつく」スイッチを押す
7. 漏電しゃ断器を「切」にする
8. 200V電源ブレーカー（配線用しゃ断器）を「切」にする



■貯湯タンクユニットの水抜き

1. 200V電源ブレーカー（配線用しゃ断器）と貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器の「切」を確認する
2. 貯湯タンクユニット内のお湯（水）をすべて排水する

・混合水栓の給湯栓、給水栓を開き、水と混合しながらあついお湯が出なくなるまで給湯する。(貯湯タンクユニット内を水にする)
・給水栓、給水止水栓を閉じてから逃し弁レバーを上げ、排水栓を開き排水する。
・水栓タイプによって水栓の操作は異なります。



⇨P.14

点検とお手入れ

手順にしたがって行ってください

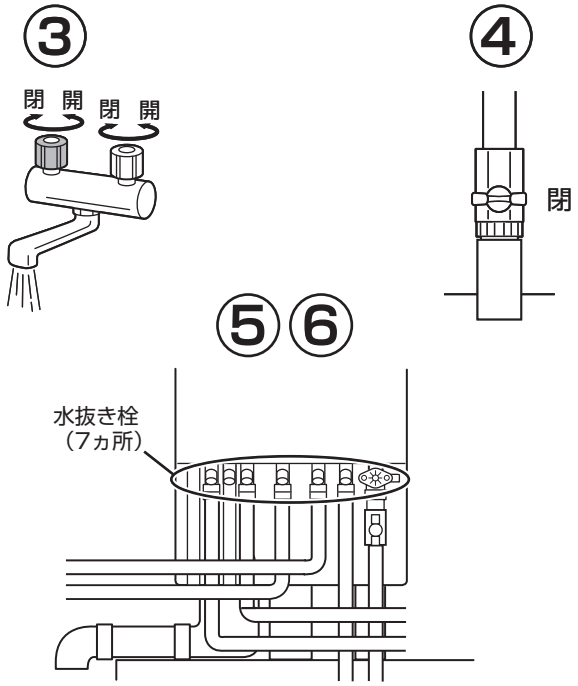
3 排水終了後、混合水栓の給湯栓、給水栓を閉じる

4 給水止水栓が閉じていることを確認する

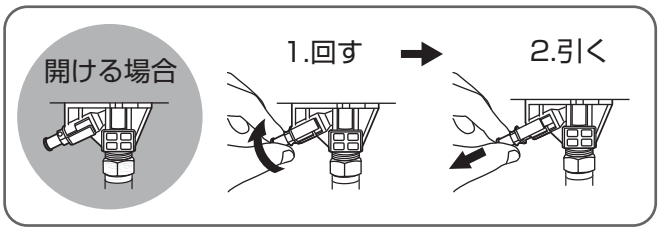
5 水抜き栓（7ヵ所）を開く

6 水抜き栓から水が出なくなったら水抜き栓（7ヵ所）および排水栓を閉じる

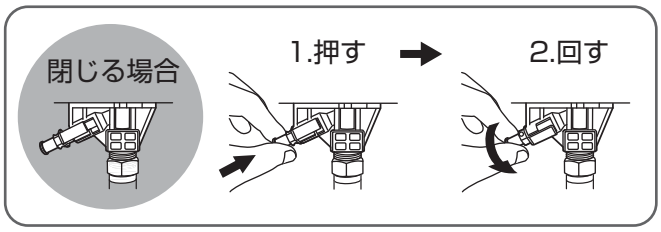
7 本体内の三方弁・ふろ循環ポンプの水抜きについては、販売店または工事店にご相談ください



・ふろ往き口、戻り口の水抜き栓操作方法



※水が勢いよく出る場合がありますので､注意してください。



※「カチッ」音がするまで回してください。

■ヒートポンプユニットの水抜き

水抜きについては、販売店または工事店にご相談ください。

1 ヒートポンプユニットの水抜き栓（2ヵ所）を左に回して開ける

※お湯が出ますので、やけどに注意してください。

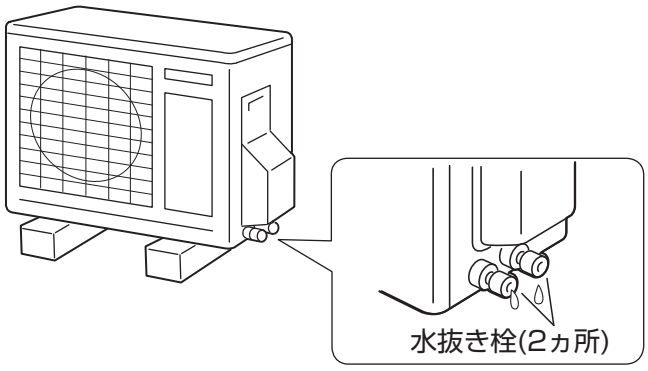
2 右側の水抜き栓を外す

3 右側の水抜き部の穴に、市販のエアポンプを差し込む

4 エアポンプで、空気を押し込む

5 左側の水抜き部から水（お湯）が出なくなるまで、3と4を繰り返す

6 排水終了後､ヒートポンプユニットの水抜き栓（2ヵ所）を閉じる



停電したときは

・リモコンの時刻表示を点検し、合っていない場合は時刻を合わせてください。
・10時間以上の停電があった場合は、全ての動作を停止します。台所リモコンまたは、ふろリモコンの復帰スイッチ（「決定」スイッチ）を押して運転を再開してください。
・10時間以上の停電があった場合は、時刻が「－－：－－」となることがあります。時刻が設定されていないとヒートポンプのわき上げが行われませんので、必ず時刻を設定してください。

■ふろ自動運転中の場合

・停電により、ふろ自動運転が中止されます。
「ふろ自動」スイッチを押して、再度ふろ自動運転を行ってください。

■わき上げ中の場合

・停電復帰後、わき上げを再開します。
「わき増し」スイッチによるわき増しは解除されます。
・停電が長時間の場合は、設定温度までわき上がらないことがあります。

断水したときは

・断水したときは、断水が回復してからお湯を使うと貯湯タンク内に汚れが入るおそれがあります。
給水栓を開き、水を十分出して、汚れがなくなってからご使用ください。

凍結のおそれがあるときは

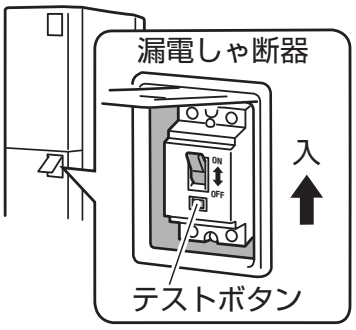
1 水抜きをせずに、漏電しゃ断器を「入」のままにしておく

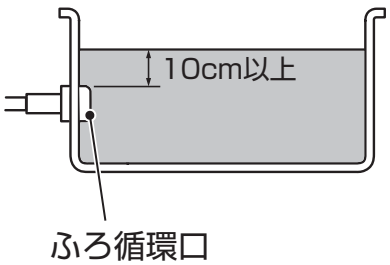
2 浴そうに水をはる

・水をふろ循環口の上から10cm以上はった状態にしておいてください。

●外気温度が低くなると、凍結予防のため、自動的にポンプを作動させて水を循環させます。

3 配管の凍結予防ヒーターの通電が「入」になっているか確認する





点検とお手入れ

手順にしたがって行ってください

1ヵ月以内の、比較的短期間使用しないとき

■漏電しゃ断器は「入」のままにしておく

・冬期の凍結予防のためです。
・貯湯タンクユニットの水抜きはしないでください。
▶再びご使用になるときは…貯湯タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

定期点検について

ヒートポンプ給湯機を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくためには4～6年に一度、定期点検整備を行ってください。
設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な交換が必要です。

■定期点検整備の実施について

・お申し込み先・・・お買い上げの販売店
・点検整備内容・・・安全性の点検整備、システム機能の点検整備（配管など）消耗、劣化しやすい部品の交換
・定期点検費用・・・定期点検整備は、お客さまのご負担によって実施します。消耗、劣化しやすい部品で交換した部品代もご負担いただきます。

■定期点検整備のおもな内容

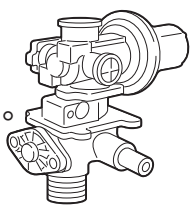
項　　目	点検整備の内容
据付状態の点検	・配管接続部の水漏れ確認・電気絶縁チェック・配管保温材の確認 ・接地面の確認
機能部品の点検	・逃し弁の水漏れ確認・循環ポンプの点検・水道用減圧弁の点検 ・逆流防止装置の動作確認・電気部品（配線、導通）動作の確認
清掃・整備	・貯湯タンク下部のスケール沈殿物の排出・減圧弁の清掃・機能部品の清掃

消耗部品について

水道用減圧弁、逃し弁、ヒートポンプ循環ポンプは消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。
点検の結果、部品交換が必要なものは交換します。交換した部品代や交換費用は、お客さまにご負担いただきます。

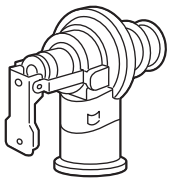
水道用減圧弁

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



ヒートポンプ循環ポンプ

内部部品の消耗により運転時の騒音・振動が発生したり、起動不具合によりわき上げ湯量が不足した場合、交換が必要です。

据付工事後の確認

次のチェック表にもとづき販売店（工事店）と共に点検をしてください

■地域や設置場所により工事の内容が若干標準配管例と異なることがあります。なお、この表は後日、メンテナンスのときに必要となりますので保管しておいてください。

	点検整備の内容	チェック
安全項目	貯湯タンクユニット脚部は、アンカーボルトで固定していること	
	床に防水処理、および漏水時の排水処理をしていること	
	漏電しゃ断器は、テストボタンで「切」になること	
	アース（接地）工事をしていること	
	貯湯タンクユニット上部は強度のある壁に固定していること	
	近くにガス類容器や引火物を置いていないこと	
	貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの連絡配線、リモコンケーブルを正しく接続していること	
本体まわり	コンクリート基礎台を設けていること	
	据付説明書どおりに点検スペースを確保していること	
配管まわり	専用の給水止水栓が取り付けられていること	
	金属配管の場合、給水・給湯配管・ふろ配管に絶縁パイプを使用していること	
	給水・給湯配管・ふろ配管・ヒートポンプ配管の水漏れはないこと	
	凍結地域では、凍結予防工事を施していること	
	部品を外しやすいようにユニオン継手を使用していること	
	排水口・排水ホッパーから排水溝へ配管していること	
	減圧弁のストレーナー（フィルター）を掃除すること	
	ヒートポンプ配管はツインチューブではなく、独立した配管を使用していること	
	排水口と排水ホッパーの間隔は5cm以上離れていること	
	ヒートポンプユニットのドレンホースは排水溝へ導かれていること	
	給水、給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプ配管に保温工事を施していること	
	貯湯タンクユニット排水時、排水溝より水があふれないこと	
	試運転終了後お客さまへ引き渡すまでのあいだ、電源を「切」にする場合は、水抜きを行うこと（冬期工事時）	
	湯水混合水栓のシャワー流量は十分確認すること	
	シャワー付の混合水栓はサーモスタット付を使用すること	

故障かな？

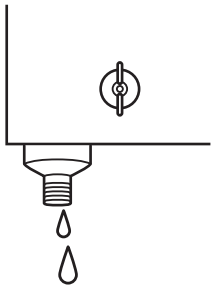
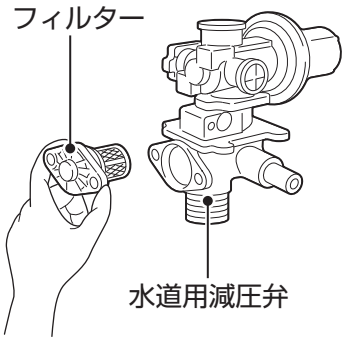
こんなときは故障ではありません

こんなときは ▶▶▶	故障ではありません
ふろリモコンが動かなくなった	お子さまのいたずらや誤った操作を防ぐため、チャイルドロックがかかっています。チャイルドロックを解除してください。 ⇨P.23
夜間通電時間になってもヒートポンプユニットが動かない	朝わき上がるように水温や残湯量によって通電開始時刻を調整するためです。
夜間通電時間帯の通電終了時刻よりも早くわき上がる	昼間の残湯があるときは、通電終了時間よりも早くわき上がります。
湯切れした	わき上げ湯量をおまかせ「多め」またはマニュアル「多め」に切り替えてください。 ⇨P.19
	来客の多い日やお湯が多量に必要なときは、わき増し量を「3レベル」の設定にし、「わき増し」運転を行うか「満タン」に設定してください。 ⇨P.20・36
湯温が少し変化する	以下のときにお湯を出すと、若干湯温が変化することがあります。 ・おふろと給湯を同時に使用したとき ・お湯をくり返し使用したとき ・2ヵ所以上でお湯を使用したとき ・水栓やシャワーの湯量を急に変化させたとき
リモコンの時刻表示が合っていない	現在時刻を合わせてください。 ⇨P.18
給湯・おふろの設定温度が変わっている	停電などで電源が切れたときにお買い上げ時の設定になります。
貯湯タンクユニットから音がする	わき上げ中やふろ自動運転ではポンプが作動し、音がしますが異常ではありません。
寒いとき、循環ポンプが動く音がする	凍結予防のためポンプが自動的に作動し、ユニット間やおふろのお湯を循環させる音で、異常ではありません。 ⇨P.44
お湯が出ない	断水していないか確認し、断水が回復したら断水後の処置をしてください。 ⇨P.44
	長期間の断水のときは下記の処置をしてください。 1. 本体操作部の漏電しゃ断器を「切」にする。 2. 給水止水栓を閉じる。 再びご使用になるときは、給水止水栓を開け、混合水栓からお湯または水が出ることを確認して、漏電しゃ断器を「入」にしてください。
わき上げ中に排水口から水が漏れる	リモコンの「わかし中」表示が点灯中は貯湯タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して排水口から徐々に水またはお湯が出ますが、故障ではありません。

こんなときは ▶▶▶	故障ではありません
わき上げ運転中、ヒートポンプユニットが霜で白くなる	冬期運転中は霜が付くことがあります。
わき上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。
お湯から油が出る、お湯が臭い	はじめて使用するときは、配管工事のときの油やにおいがお湯に混じって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。
ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	ヒートポンプユニットに付いた霜を取り除き、水や湯気として出すためです。
浴そう水が青く見えたり、タオル、タイルの目地が青くなる	水中に含まれているわずかな銅イオンの影響によるものです。人体に害はありません。 ⇨P.17
湯切れ注意表示が点滅している	「わき増し」運転により、わき上げを行ってください。
リモコンが表示していない	自動消灯の設定になっているためです。 自動消灯にしない場合は、リモコンの各種設定より設定を変更してください。 ⇨P.24~25
お湯はりの途中で音がする	ポンプが空気を吸い込む音です。異常ではありません。 お湯はりが完了すると音はしなくなります。
朝に残湯量表示が全て点灯した状態になっていない 全量わいていないのでは？	冬期に外気温が低いときは、ヒートポンプユニットの能力が低下するので、夜間に貯湯タンクのお湯が全量わかない場合があります。
残湯量表示が点灯しているのにわき上げしている	わき上げ湯量設定を「おまかせ」「マニュアル」に設定している場合、お湯が減ったらわき増しをする場合があります。 ⇨P.19

故障かな？

こんなときは販売店または工事店にご連絡ください

こんなときは	ご連絡ください
「わかし中」が消灯中に排水口から水が漏れる 	運転中以外（リモコンの「わかし中」が消えているとき）に排水口から水が漏れているときは、逃し弁の故障です。逃し弁が故障したまま使用されますと、わき上がったお湯が逃し弁より漏れて、湯量不足がおこったり、湯温が低くなったり、水道代・電気代が平常月より高くなることがあります。 逃し弁レバーを数回上下に動かし、レバーを下げたときに排水口からお湯（水）が止まるか確認してください。 ※上記操作を行っても排水口からお湯（水）が出続けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
お湯の出が悪くなったとき 	フィルターにごみなどがつまっていることがあります。 **販売店または工事店の方が行ってください。** ・掃除の方法 やけど防止のため次の手順で行ってください。 1.漏電しゃ断器を「切」にした後、「長期間使用しないときは」⇨P.42の項にしたがって排水する。 2.排水後、フィルターのふたを外し、あみを掃除する。 3.フィルターのふたを閉め、「はじめてお使いになるとき」⇨P.13～14の項にしたがって再びご使用ください。
その他	・台所リモコン、ふろリモコンの時刻表示部に次のページ以外の「異常表示」が出たとき ・水漏れがあるとき **給水止水栓を閉めてから、販売店にご連絡ください。**

移設するときは…

●増改築・引越しなどで、機器を移設したり、再据付けする場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

配管部材の修理…

●ヒートポンプ給湯機（本体に当初から内蔵された部材を含む）の本体以外の配管部材に関わる修理は販売店（工事店）に連絡してください。

■対処してください

リモコンの時刻表示部に次のように表示された場合は、お客さまが対処できる異常表示です。それぞれの方法で対処してください。

異常表示	内容	処置方法
F-E04	お湯はり時の浴そうの栓の閉め忘れ	①浴そうの栓が抜けていたら、しっかり栓をする。 ②台所リモコン、ふろリモコンの「ふろ自動」スイッチを押しお湯はりをする。
F-E04	満水であふれる	①「ふろ自動」スイッチを押し、お湯はりを中止する。 ②設定水位を下げて適量水位に設定し直す。 ③「ふろ自動」スイッチを押し、お湯はりをする。
F-E07	ふろ自動運転または、あつく動作開始から、60分しても設定温度にならない	・湯切れの場合は、「わき増し」スイッチを押す。 ・ふろ循環口のフィルターのつまり、配管のつぶれがないか点検する。再度表示したら循環ポンプ清掃、点検が必要ですので、販売店にご連絡ください。 ・前日の残り湯をわかし直しすると、設定温度にならない場合があります。できるだけ行わないでください。
H-E01	ヒートポンプユニットのエア抜きが不十分	・貯湯タンクユニットと、ヒートポンプユニット配管のエア抜きをする。 ・あついお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。
H-E02		
H-E03		

●リモコン画面に異常表示が出ているあいだは、リモコンが点灯します。

■販売店に連絡してください

・リモコンに上記以外の表示が出た場合、または上記の処置をしても直らない場合は異常です。
給水止水栓を閉じ、200V電源ブレーカー、漏電しゃ断器を「切」にし、すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。
・冬期凍結のおそれがある時期に異常表示が出たときは、200V電源ブレーカー、漏電しゃ断器および配管の凍結予防ヒーターの通電を「切」にすると、配管が凍結して故障が拡大する場合がありますので、すみやかにお買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

■システム　370L（フルオート）

形式（セット形式）	EBS-H37QTA2
適用電力制度	季節別時間帯別電灯、時間帯別電灯、通電制御型
区分	夜間蓄熱式機器
種類	屋外型
電源	単相200V（50/60Hz共用）
最大電流	17A
仕向地　※1	Ⅲ地域以南
年間給湯効率　※2	3.2
システム構成品番	貯湯タンクユニット：EB-H37QTA2　ヒートポンプユニット：EB-H45HPA2 リモコンセット：EBK-HSRA
オプション部材	配管カバーセット：EBP-HHK37 ふろリモコン屋外配線用カバーセット：EBP-SFHK2

※1.次世代省エネ基準Ⅲ地域：おもに宮城、福島、栃木、新潟、長野の一部など、次世代省エネ基準Ⅲ地域以南の地域でご使用ください。
また、最低気温が対応温度(マイナス10℃)を下回る地域には設置しないでください。

※2.年間給湯効率は（社）日本冷凍空調工業会の規格であるJRA 4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件（下記）のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお値は、省エネモードである「おまかせ　少なめ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件などにより変わります。

・一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で、42℃のお湯を一日に約425L使用する条件などを想定したものです。

$$\text{年間給湯効率} = \frac{\text{一年間で使用する給湯に係る熱量}}{\text{一年間で必要な消費電力量}}$$

■ヒートポンプユニット

形式（品番）	EB-H45HPA2
使用冷媒	R744
外形寸法（ H x W x D ）	694 x 828(+70※) x 283 mm（※配管カバー）
製品質量	53kg
中間期加熱能力/消費電力	4.5kW/0.96kW　外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃
夏期加熱能力/消費電力	4.5kW/0.96kW　外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、わき上げ温度65℃
冬期高温加熱能力/消費電力	4.5kW/1.5kW　外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、わき上げ温度90℃
わき上げ温度	65℃～90℃
運転音	38dB（中間期条件）　43dB（冬期高温条件）

■貯湯タンクユニット

形式（品番）		EB-H37QTA2
タンク容量		370L
最高使用圧力		190kPa (1.9kgf/cm²)
外形寸法（ H x W x D ）		1795(+30※) x 630 x 730mm（※とって）
製品質量		69kg （満水時 439kg)
消費電力		0.142kW/0.165kW（凍結予防ヒーター含む）
配管接続口径	給水・給湯接続	R3/4（20Aオス）
	ふろ循環接続	R1/2（15Aオス）配管長15m 10曲り以内、鳥居配管 3m以内
	ユニット間接続 ※3	R1/2（15Aオス）配管長15m 6曲り以内、高低差 3m以内、 鳥居配管 3m以内

※3.ヒートポンプユニット・貯湯タンクユニット間ケーブル:3芯φ2.0mmVVFケーブル、電源ケーブル2芯φ2.0mmをご使用ください。

■運転制御

給湯・湯はり・保温	給湯温度設定	36℃～48℃ （1℃刻み)、60℃
	自動湯はり温度設定	36℃～48℃ （1℃刻み）
	水位（量）設定	7段階設定　※4
	方式	間接加熱
	保温時間	最長保温時間　5時間
凍結予防	給湯	水抜き
	ふろ	自動凍結予防運転
	ユニット間	自動凍結予防運転
給水圧力		200kPa～350kPa（2.0kgf/cm² から3.5kgf/cm² ）

※4.ふろ循環口上約10cm～15cmから上方に2cmまたは4cm刻み（浴そうの大きさによって変わります）の7段階設定。

MEMO

MEMO

MEMO

アフターサービス

保証書（別紙）について

お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ大切に保管してください。

保証期間はお買い上げの日より2年間です。
ただし、熱交換器およびコンプレッサーは3年間、貯湯タンクは5年間です。

- 保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買い上げの販売店、または「お客様サービス受付センター」にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される場合

- 撤去、再据付工事は必ず専門業者に依頼してください。

お客様サービス受付センター

0120-330-515

FAX.0120-553-286

受付時間　年中無休　365日／24時間

●サービスを依頼されるときは、次のことをお知らせください。

①形式名：EBS-H37QTA2
②現象：異常・故障など詳しく
③ご住所、お名前、お電話番号
④道順：付近の目印も

保証書はり付け位置
（裏面の文字が読めるようにテープ等ではり付けしてください）

サンデン株式会社

〒110-8555　東京都台東区台東1-31-7
http://www.sanden.co.jp

40950-44180